

もくじ

安全上のご注意	2～3
取付・設置上のお願い	4
工事区分	5
各部の名称	6
吊戸棚・ワークユニット	
付属部品の確認	7
設置前の準備と確認	8
取付・設置手順	
1. 吊戸棚の取り付け	9～12
・棚下灯の取り付け	12
・ブルダウンラック吊戸棚	13
・照明スペース付吊戸棚	13～14
2. 天井幕板の取り付け	14
3. フロアキャビネットの取り付け	
・給水・給湯・排水・ガス配管・電気配線・排気口の確認	15
・事前準備	15～16
・フロアキャビネットの取り付け	17～18
4. フィラーの取り付け	19
5. ワークトップの取り付け	
・ワークトップの取り付け	20
・排水ストレーナーの取り付け	20～22
・排水ホースの取り付け	22～24
6. エンドパネルの取り付け	25
周辺収納用キャビネット	
付属部品の確認	25
設置前の準備と確認	25～26
取付・設置手順	
7. 周辺収納用キャビネットの取り付け	
・キャビネットの配置と取り付け	27
・カウンターとプラスワンカウンター付きキャビネットの固定	27～28
・トール用キャビネットの取り付け	28～29
・引き戸ハイトールの取り付け	29～30
・エンドパネル（トール用）の取り付け	31
・カウンターの取り付け	31
・家電収納フロアキャビネットの電気配線工事	31～32
・蒸気排出ユニットの取り付けと電気配線工事	32～33
8. 機器類の設置・ガス・給排水・電気工事	33～34
9. 部品の取り付け	
・バックガードカバーの取り付け	34
・棚板の取り付け・取り外し	34
・引き出しの取り付け・取り外し	35～36
・引き出し前板と引き出しの固定	37
・ディバイダーの取り外し・取り付け方法	
・扉・丁番・ダンパーの取り外し・取り付け方法	37
・フラップ吊戸棚の扉取り外し・取り付け方法	38
・アレンジスライド（どこでもパレット）の取り付け・取り外し	39～41
・洗剤カゴ、まな板スタンドの取り付け	42
・楽すてポケット（楽すてハンガー）の取り付け	42
・スライドマグネットラックの取り外し・取り付け方法	43
10. 調整	44～49
11. 仕上げ	50～51
11. 点検	51
11. 完了後の処置	52
12. 残材処理	52

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付設置をされる方の安全と使用者の安全確保のため、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- システムキッチン本体組立・設置とそれに伴う関連工事（建設工事）は区別して行なってください。関連工事については法令規定に従った工事（有資格者等による）が必要になります。
- 本説明書はシステムキッチンのものです。その他のキャビネットはそれぞれに同梱する取付・設置説明書をご覧ください、正しい設置をおこなってください。
- この取付・設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 梱包材や残材は廃棄物処理法に従って適切に処理してください。
- 取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。（取付設置完了後、使い方を説明してください。）

安全上のご注意

- 取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 表示内容を見逃して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。



警告

ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは必ず保護手袋をする。

切断面にさわると、けがをするおそれがあります。



組み込まれる電気機器、換気フード・水栓金具等については、それぞれの取付・設置説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置する。

思わぬ事故や故障の原因になることがあります。



電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令、規定にしたがって、必ず「有資格者」が行う。

火災・感電・ガス漏れ・水漏れの原因になることがあります。



製品固定ねじを空転するまで無理に締め込まない。

製品が倒れたり落下して、けがをするおそれがあります。



製品は水平で平滑な床面壁面にしっかりと固定する。

製品が倒れて、けがをするおそれがあります。



レンジフード横に取付ける場合は火災予防条例に従い、不燃用吊戸棚を設置する。

所轄の消防署に確認してください。離隔距離によっては、火災の原因になるおそれがあります。



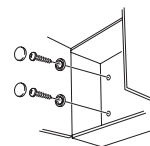
システムキッチンの設置は、建築側の構造を確かめて取付・設置説明書どおりに正しく行う。取付位置に補強があることを下地チェッカーで確認する。

製品が倒れたり落下して、けがをするおそれがあります。



フロアキャビネット・吊戸棚・周辺収納用キャビネットの固定は付属の取付ねじ（コーススレッドφ4.2×65）をワッシャーに通し、背面の穴より壁面に確実に固定し、指定位置以外に固定しない。

製品が倒れたり落下して、けがをするおそれがあります。



安全上のご注意

⚠ 注 意

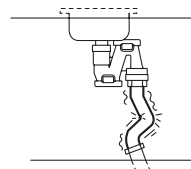
防臭キャップ・排水器具・排水ホースの取り付け及び給排水管の接続部分のシールや、コーキングは確実に行う。

水が漏れたり、湿気が上がり床が腐るおそれがあります。



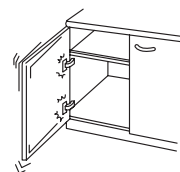
排水ホースはU字型に曲げたり、折り曲げて取付けない。

排水能力が低下して、シンクから水があふれ、床を汚すおそれがあります。



取付・設置完了後は扉のがたつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

使用中に扉が落下して、けがをするおそれがあります。



取付・設置に使われる溶剤・その他薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって、正しく使う。

誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。



絶対に分解したり、修理・改造したりしない。

落下して、けがの原因になることがあります。



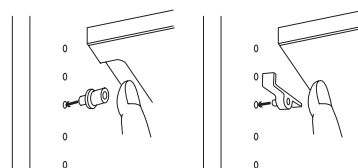
フィラーの組立は、所定のねじにより確実に行う。また、取付けは隣接するキャビネット及び壁また、取り付けは隣接するキャビネット及び壁面に確実に固定する。

製品が落ちて、けがをするおそれがあります。



棚板を設置するときは、棚受を隙間のないように根元まで確実に差し込む。

棚板がはずれ、収納物が落下して、けがをするおそれがあります。



キャビネットに乗らない。

製品が変形したり、落下してけがをするおそれがあります。



吊戸棚の底面に水切りパイプ棚等を取り付ける際には、それぞれの取付・設置説明書を守り、正しく設置する。

吊戸棚の側板木口及び不燃仕様吊戸棚底板にはねじが効かないため、取り付けた製品が落下して、けがをするおそれがあります。



アレンジスライド(どこでもパレット)がガス配管(ガス栓も含む)にあたってしまう場合はアレンジスライド(どこでもパレット)をガス配管にあたらない位置に取り付ける。

ガス漏れを起こすおそれがあります。



取付・設置上のお願い

お 願 い

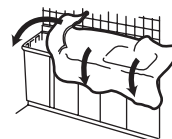
運搬中ぶつけないように注意してください。
また運搬は2人以上で行ってください。

製品および周辺設備が破損したり傷がつき、使用できなくなるおそれがあります。



取付・設置中はワークトップにおおいをし、製品を保護してください。

くぎやねじ類が落ちてきた場合、表面に傷がつくおそれがあります。



清掃時には台所用中性洗剤を使用してください。

その他の洗剤及びベンジン・アセトン・シンナー・ガソリン・みがき粉等の溶剤や薬品を使用すると、製品の変色、変質の原因になります。



「はじくリンワークトップ」「マルチナシンクコート」の表面は、強くこすらないでください。

表面のはつ油・はっ水コートの効果が失われる可能性があります。



「はじくリンワークトップ」「マルチナシンクコート」の清掃時は、水を十分に含ませたやわらかい布かやわらかいスポンジで台所用中性洗剤を使用してください。

乾いた布やかたい布、研磨剤入りのスポンジ等でこすると、表面のはつ油・はっ水コートの効果が失われる可能性があります。
※汚れがひどい場合は、エタノールを含ませたやわらかい布で、軽く汚れをふき取ってください。



ワークトップの表面に物を置いて引きずらないでください。

表面に傷がつくおそれがあります。



「人工大理石ワークトップ」の清掃時は、水を十分に含ませたやわらかい布かやわらかいスポンジで台所用中性洗剤を使用してください。

乾いた布やかたい布、研磨剤入りのスポンジ等でこすると、表面に傷がつくおそれがあります。
※汚れがひどい場合は、エタノールを含ませたやわらかい布で、軽く汚れをふき取ってください。



アクリル系人工大理石 ワークトップは鏡面仕上げのため表面は強くこすったり工具を置いたり、物を置いて引きずらないでください。

表面に傷がついたり、ツヤが変わります。



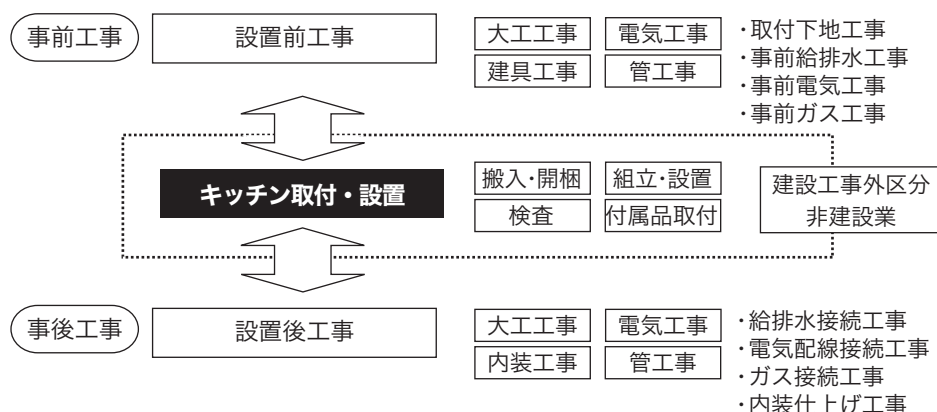
工事区分

警告

- ◎ 本説明書は、システムキッチンの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、管工事（給排水）、建具工事などと区別して説明しています。
- 建設工事は関連する法令・規定に従って、法的有資格者による工事が必要になります。
- 流通業者様（販売店様など）からの発注で下請けとして「本体の取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と「システムキッチン本体取付・設置」を区別して行ってください。

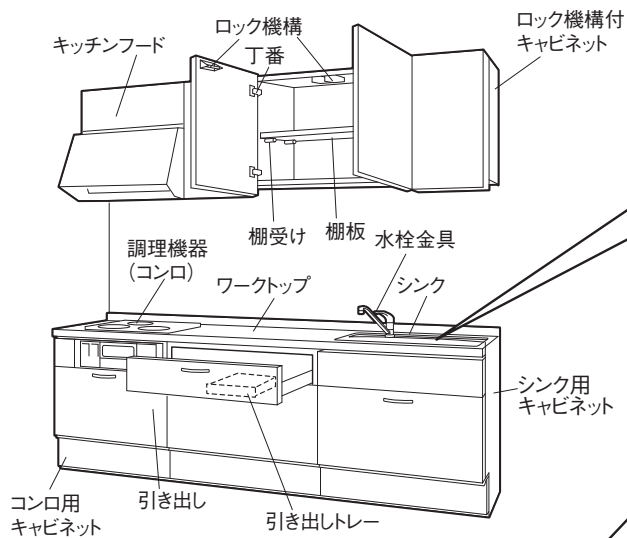


■システムキッチンの取付・設置とユニット工事区分



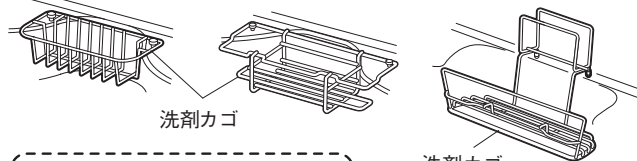
1. 各部の名称

スライド収納タイプ



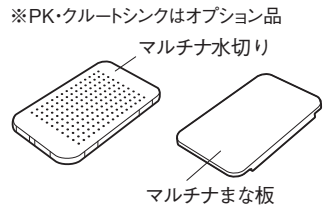
シンク付属品

- ステンレスシンク (Q・U・CMシンク)
- ステンレスシンク (FM・GMシンク) (KS・FS・GSシンク)
- 人工大理石シンク (マルチナシンク・マルチナシンクコート)



洗剤カゴ

洗剤カゴ



※PK・クルートシンクはオプション品

マルチナ水切り

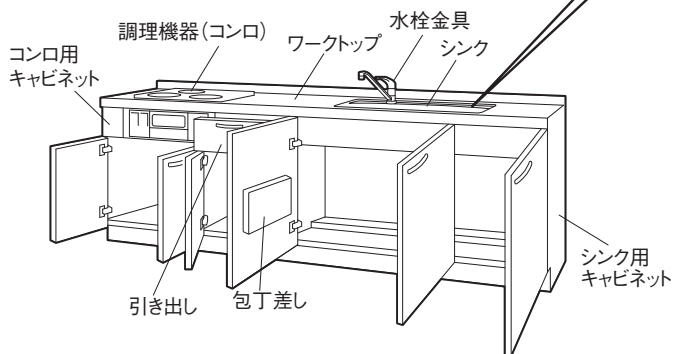
マルチナ水切り

マルチナ水切り

マルチナ水切り

マルチナ水切り

開き扉タイプ



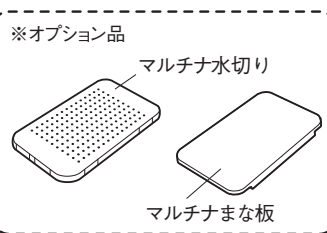
シンク付属品

- ステンレスシンク (Q・Uシンク)
- 人工大理石シンク (マルチナシンク・マルチナシンクコート)



洗剤カゴ

洗剤カゴ



※オプション品

マルチナ水切り

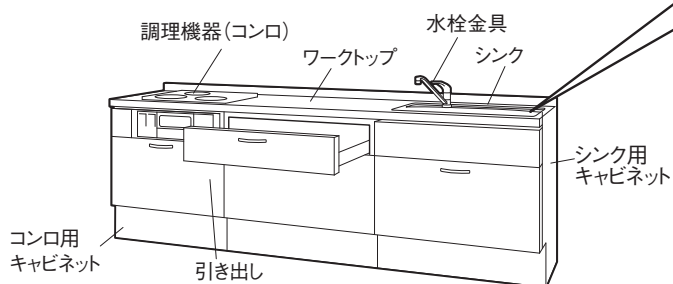
マルチナ水切り

マルチナ水切り

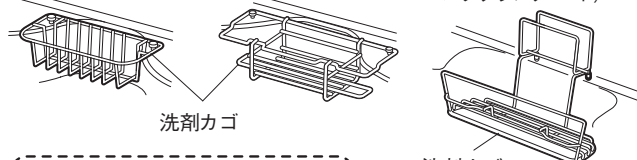
マルチナ水切り

マルチナ水切り

エントリースライドタイプ

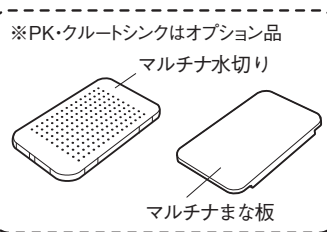


- ステンレスシンク (Q・CMシンク)
- ステンレスシンク (FM・GMシンク)
- 人工大理石シンク (マルチナシンク・マルチナシンクコート)



洗剤カゴ

洗剤カゴ



※PK・クルートシンクはオプション品

マルチナ水切り

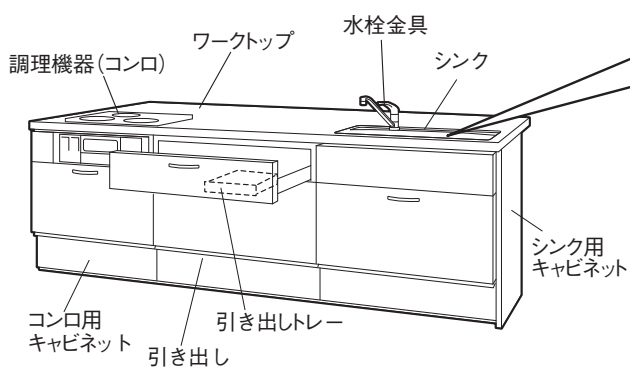
マルチナ水切り

マルチナ水切り

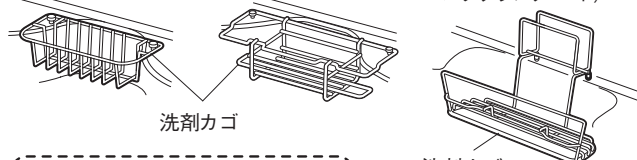
マルチナ水切り

マルチナ水切り

ワイドカウンタータイプ

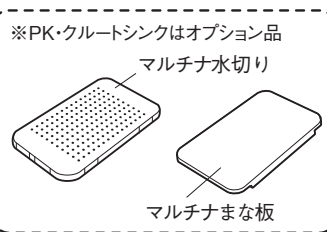


- ステンレスシンク (Q・CMシンク)
- ステンレスシンク (FM・GMシンク)
- 人工大理石シンク (マルチナシンク・マルチナシンクコート)



洗剤カゴ

洗剤カゴ



※PK・クルートシンクはオプション品

マルチナ水切り

マルチナ水切り

マルチナ水切り

マルチナ水切り

マルチナ水切り

注) 製品シリーズによって扉割が異なります。

吊戸棚・ワークユニット

<付属部品の確認>

プランによっては付属しない部品があります。

吊戸棚

間口 (cm) 付属部品名	15	30, 35, 45, 50, 60, 75	90, 105, 120, 125, 135, 140	コーナー用 吊戸棚	スイングダウン ウォール付吊戸棚	照明スペース 付き吊戸棚	プルダウンラック付吊戸棚		フラップ吊戸棚	
							30, 45	90	75	90
取付ねじ コーススレッドφ4.2×65	2本	4本	5本	8本	5本	6本	4本	6本	4本	5本
ねじ トラスタッピンφ3.5×13	—	—	—	—	—	—	—	2本(照明スペース付)	—	—
M4ワッシャー	2個	4個	5個	8個	5個	6個	4個	6個	4個	5個
化粧キャップ	2個	4個	5個	8個	5個	6個	4個	6個	4個	5個
ナイロンクリップ	—	—	—	—	—	—	—	2個(照明スペース付)	—	—

ワークトップ

同梱先	付属部品	仕様	員数				マルレー・カナリエシリーズ			PKシリーズ				クルートシリーズ			
			I 型	L 型	ワイド カウンター	I 型 奥行60cm	FS・GS シンク	FM・GM シンク	人工大理石シンク マルチナシンク・ マルチナシンクコート	Q・U シンク	HM シンク	Bシンク	人工大理石 シンク	マルチナ シンク	CM-KS シンク	GM-GS シンク	マルチナ シンク
ワーク トップ	ストレーナー部組品	—	1個	1個	1個	1個	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	排水ホース	—	1個	1個	1個	1個	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	防臭キャップ	—	1個	1個	1個	1個	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ワークトップ固定ねじ	トラスタッピンネジ：φ3.5×13	35本	55本	70本	35本	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	壁固定ねじ	サラモクツインネジ：φ3.5×32	—	—	2本	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	キャビネット連結ねじ	コーススレッド：φ3.8×28	20本	20本	30本	20本	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	連結ワッシャー	—	20個	20個	30個	20個	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	化粧キャップ	φ16.5	20個	20個	30個	20個	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	スパーサー（レベル調整用）	ラワン合板：t2.5×30×50	5枚	5枚	10枚	5枚	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	洗剤カゴ	—	1個	1個	1個	1個	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	排水トラップ（Sトラップ）	—	1個	1個	1個	1個	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●
	エルボ管	—	1個	1個	1個	1個	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●
	L金具	—	2個	2個	2個	2個	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	壁固定金具	—	—	1個	—	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	どこでも水切り	—	1個	1個	1個	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
	どこでもまな板	—	1個	1個	1個	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
	バックガードカバー	—	—	—	—	1個	●※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	磁石	—	—	—	—	2個	●※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	接着剤セット	各色別	—	1式	—	—	人工大理石トップ L型専用付属部品 詳しくは人工大理石トップの取付・ 設置説明書を参照ください。										
	接続金具セット	—	—	1式	—	—											
	耐水ペーパー	#240, #400, #800	—	計3枚	—	—											
	ナイロンタワシ	#1000 m2	—	1枚	—	—											
	接着剤用パレット	塗装合板：t2.5×150×150	—	1枚	—	—											
	アルコール	50	—	1個	—	—											
	マスキングテープ	9m	—	1個	—	—											

※1: ワークトップ奥行60cmの場合

フロアキャビネット

同梱先	付属部品	仕様	員数			
			シンクキャビ	ゴミ箱収納シンクキャビ	コンロキャビ	調理台キャビ
スライド 収納タイプ	キャビネット固定ねじ	コーススレッドφ3.8×38	8本	8本	—	4本
	ゴミ箱収納扉固定ねじ	コーススレッドφ3.8×38	—	3本	—	—
	連結ワッシャー	—	8個	11個	—	4個
	化粧キャップ	—	8個	13個	—	4個
	ミキリよけ (長)	—	※ミキリよけ同梱仕様のみ	—	※ミキリよけ同梱仕様のみ	—
	ミキリよけ (短)	—	1本 ※ミキリよけ同梱仕様のみ	—	1本 ※ミキリよけ同梱仕様のみ	—
	ミキリよけ固定ねじ	サラタッピンねじφ3.5×25	6本 ※ミキリよけ同梱仕様のみ	—	6本 ※ミキリよけ同梱仕様のみ	—
引き出し タイプ	L金具 25×25	—	4個	—	—	2個
	キャビネット固定ねじ	コーススレッドφ3.8×38	4本	—	—	2本
		サラタッピンねじφ3.5×25	8本	—	—	4本
		コーススレッドφ4.2×65	4本	—	—	—
	連結ワッシャー	—	2個	—	—	—
	コマ (木)	18×40-100	2個	—	—	—

フィルター

付属部品	型式		#S(1)YFIL- #SQYFIL- #S(1)MYFIL-	#SYFFIL- #SQYFFIL- #SMYFFIL-
	#BFIL-	#BFILF-		
補強金具	3個	4個	6個	6個
トラスタッピンねじφ3.8×13	8本	12本	24本	14本
トラスタッピンねじφ3.5×30	—	—	—	10本
サラモクねじφ3.5×38	6本	6本	—	8本
ケコミ板	1個	1個	—	—
底板	—	—	1枚	不燃底板 1枚
不燃側板パネル	—	—	—	縦・横 1枚

型式の#記号は商品シリーズを表します。

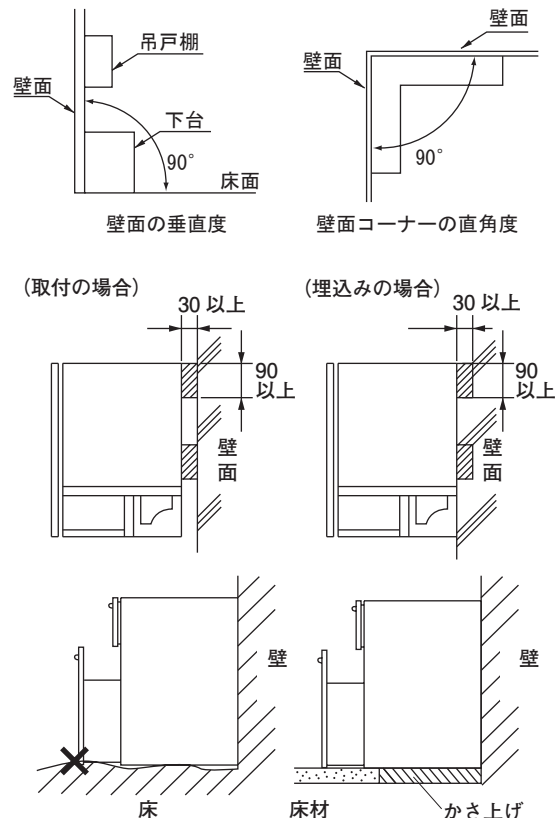
設置前の準備と確認

(1) 壁面・床面の仕上げの確認

- ・製品搬入前に床面を仕上げておいてください。
- ・床面に対して壁面を垂直に仕上げてください。
- ・壁面コーナー部は直角に仕上げてください。
- ・壁面が床面に対して前方に傾いていると吊戸棚のロック機構が働いて扉が開かなくなります。あらかじめ壁面の吊戸棚設置下部に木（ベニア）を入れて、吊戸を設置した際に扉がロックしないように調整してください。
- ・吊戸棚を設置する壁面に凸凹があると、扉に段違いが生じますので、壁面は必ず平滑に仕上げてください。
- ・床面は製品の荷重に耐えられる材質・構造であることを確認してください。また、水平で平滑に仕上げてください。

<床耐荷重の目安>

- ① I 型間口2550mmの場合：重量600kg程度
- ② ワイドカウンター間口2600mmの場合：重量870kg程度
- ・スライド収納タイプは引き出しが床面近くにありますので、床面は水平で平滑に仕上げ、不陸には十分注意してください。また、キャビネット設置後に床仕上げを行なう場合は、あらかじめ床材の厚み分キャビネットをかさ上げして設置してください。
- ・製品を設置する壁面には図に示す位置に固定できる補強桟が強固に固定されていることを確認してください。補強桟が壁面に埋込まれている場合は、下地チェッカーで確認してください。補強桟は虫食いや腐れのないものを使用してください。
- ・製品を壁内で設置する場合には、仕上がり面(キッチンパネル・タイル等)で製品寸法+5mm程度は寸法確保してください。



⚠ 注意

- 設置する床面の木クズ、ゴミは取り除く。

床面が水平でなかったり異物があると、扉の段違いを生ずるおそれがあります。

- 床面が製品の荷重に耐えられる材質や強度であることを確認する。
足りない場合は補強工事をする。

床の強度が弱いと床やキッチンが沈み、不具合が発生する原因になります。

⚠ 警告

- 製品は、水平で平滑な床面・壁面にしっかりと固定する。

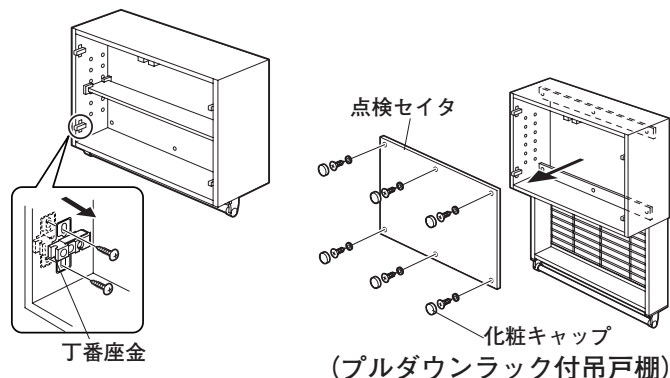
製品が倒れて、けがをするおそれがあります。
また、扉の段違いや引出しの不ぞろいを生ずるおそれがあります。

- 設置は、建築側の構造を確かめて取付・設置説明書どおりに正しく行う。
取付位置に補強があることを下地チェッカーで確認する。

製品が倒れたり落下して、けがをするおそれがあります。

(2) 扉・棚板・引出の取り外し

- ① 扉・棚板・引出の取り外し方法は③④～③⑦ページを参照してください。
- ② プルダウンラック付吊戸棚は丁番座金と点検セイタを外してください。
 - ・下側の丁番座金を外してください。
(間口 900 の場合は、左右とも外してください。)
 - ・点検セイタ取付ネジの化粧キャップを外し、ネジをゆるめて点検セイタの下部を手前に引くようにして外してください。
 - ・吊戸棚本体を本取付・設置説明書にしたがって壁面に設置してください。背面ガードが邪魔になる場合は、昇降ユニットを少し下げて作業してください。



(3) 点検パネル・点検カバーの取り外し（ニースペースシンクキャビネットのみ）

- ・点検パネル・点検カバーの取り外し方法は「ニースペースシンクキャビネット点検パネル・点検カバー」取付説明書を参照してください。

取付・設置手順

<取付・設置手順>

1. 設置前の準備と確認 ----- P 8

2. 商品の設置手順 ----- P 9～33

3. 機器類の設置・ガス・水道・電気工事 ----- P 33～34

4. 部品の取り外し方法・取り付け方法 ----- P 34～43

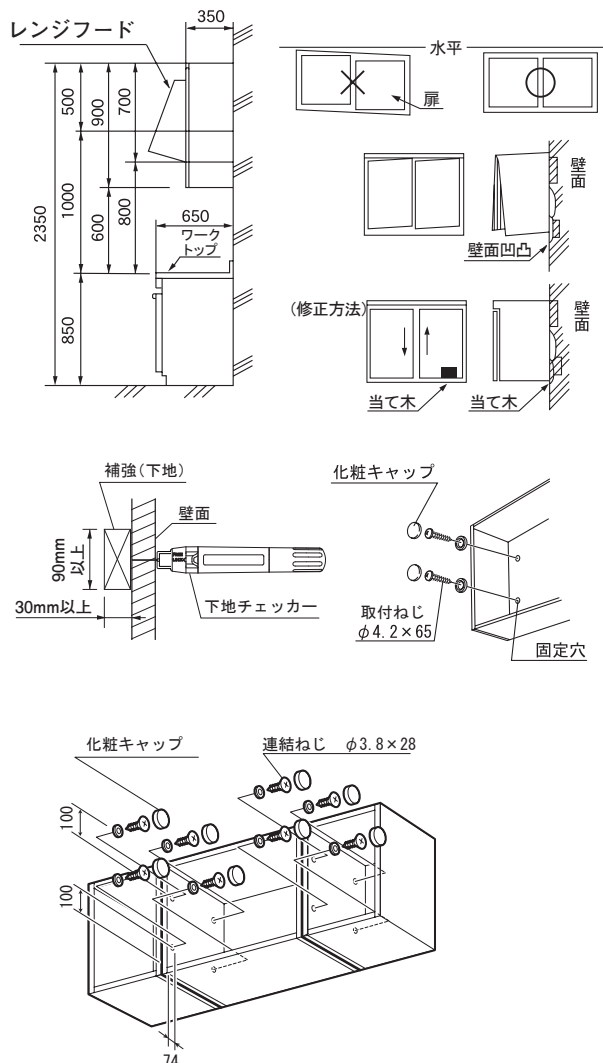
5. 扉・引き出しの調整方法 ----- P 44～49

仕上げ	(1) ワークトップと壁面間のシール	P 50～52
	(2) 清掃	
	(3) コーキング塗布場所について	
点検	(4) 洗剤カゴ、まな板スタンドの取り付け	
	(1) 安全点検	
	(2) 組込機器の試運転	
完成後の処置	(1) 商品の養生について	
	(2) 取扱説明書の保管・引き渡し方法	
残材処理	(1) 梱包材その他残材の処置	

1. 吊戸棚の取り付け

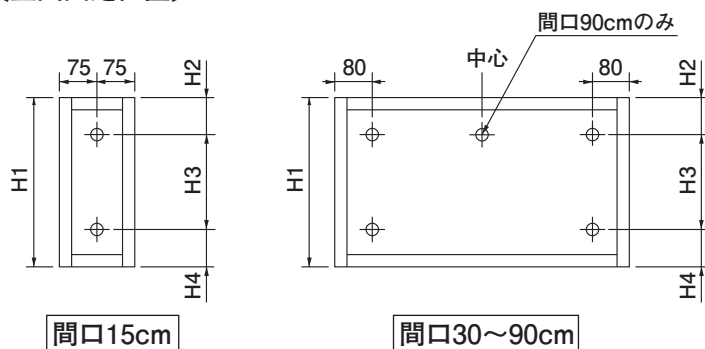
(1) 吊戸棚の取り付け

- 標準的な吊戸棚の取り付け位置は図の通りです。吊戸棚の配置及び取り付け位置はシステムキッチンの取付設置図面に従ってください。
- キッチンパネルがある場合は、キッチンパネルを壁面に取り付けます。キッチンパネルの取付・設置説明書に従って取り付けてください。
- 吊戸棚の取り付け位置を壁面、または壁面に取り付けてあるキッチンパネルに墨出しをします。ただしトールキャビネット・上置戸棚がある場合は、これらを仮置きした後に墨出しをしてください。
- 下地チェッカーを用いて、取り付け位置に正しく補強（下地）が入っているか確認してください。
- I型設置の場合は吊戸棚を隅側より取り付けていきます。L型設置の場合はコーナー吊戸棚より取り付けていきます。吊戸棚を取り付ける際は、吊戸が水平垂直になるように取り付けてください。水平に取り付けていないと扉に段違いが生じたり、扉のロック機構が正常に作動しないことがあります。吊戸棚を据付ける壁面に凹凸があると、扉に段違いが生じますので壁面は必ず平滑にしてください。扉の段違いが生じた場合は壁面と吊戸棚の間に当て木（ベニア等）を入れて調整してください。
- 吊戸棚の固定は付属の取り付けねじ（コーススレッドφ4.2×65）をワッシャーに通し背面の固定用穴より壁面に確実に固定してください。取り付けねじのワッシャーに化粧キャップを取付けます。
- 左右に吊戸棚がある場合は、ワークトップに付属のねじ（コーススレッドφ3.8×28）で必ず連結してください。
- 機能付吊戸棚は⑬・⑭ページに従ってください。
- フィラーは⑳ページに従ってください。

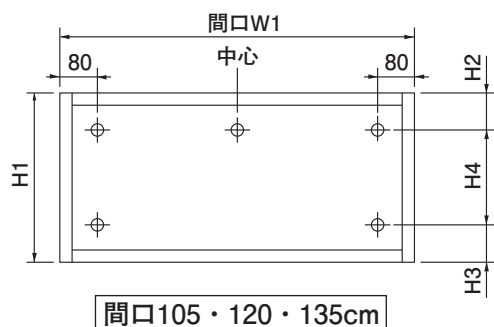


取付・設置手順

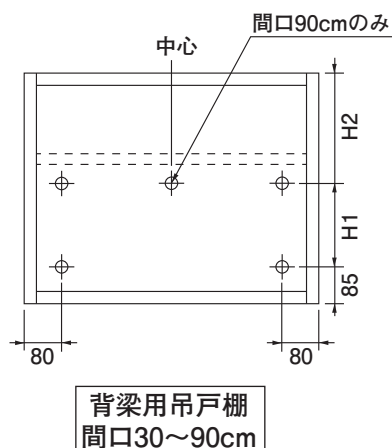
〔壁面固定位置〕



高さ		H1	H2	H3	H4
400		375	60	250	65
500		475	80	310	85
600		575	80	410	85
700		675	80	510	85
900	標準扉	875	80	710	85
	シーソー扉	900	80	735	85



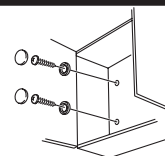
高さ	H1	H2	H3	H4
500	475	80	310	85
600	575	80	410	85
700	675	80	510	85



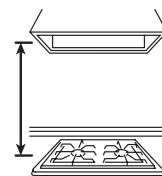
高さ	H1	H2
500	110	280
600	160	330
700	210	380

警告

- 吊戸棚の固定は付属の取付ねじ（コーススレッド $\phi 4.2 \times 65$ ）をワッシャーに通し、背面の固定用穴より壁面に確実に固定する。
指定位置以外で固定すると、製品が落下して、けがをするおそれがあります。



- レンジフード横に取り付ける場合は火災予防条例に従い、不燃用吊戸棚を設置する。
所轄の消防署に確認してください。離隔距離によっては消防署の検査に不合格になるばかりでなく、火災の原因になるおそれがあります。



注意

- 製品取り付けの際に取り外した扉、棚板は直接床に置かないでダンボール等で養生した場所に置く。
床や扉、棚板に傷がつくおそれがあります。



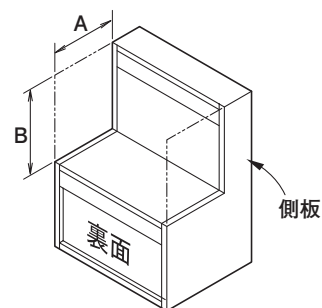
(2) 梁がある場合の取り付け

背梁用吊戸棚や梁下塞ぎ板を使用して設置する。

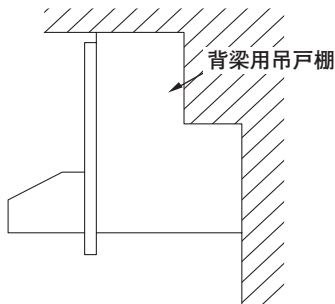
■背梁用吊戸棚（高さ 500・600・700mm 用）

梁のサイズに合わせて側板をカットする。

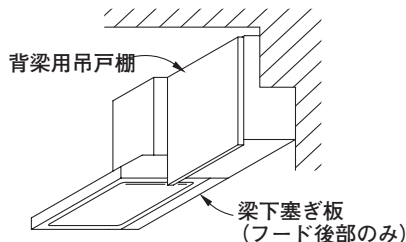
高さ	A	B
500	230	200
600	230	250
700	230	300



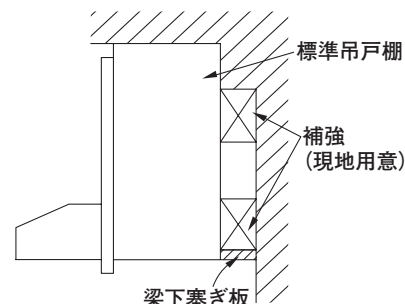
○梁奥行 150mm までの場合
背梁用吊戸棚で設置する。



○梁奥行 151～230mm までの場合
背梁用吊戸棚と梁下塞ぎ板で設置する。



○梁奥行 231～300mm までの場合
標準吊戸棚と梁下塞ぎ板で設置する。



警告

- 吊戸棚を設置する壁面に補強（30 × 90）が確実に固定されていることを確認してください。補強材は虫食いや腐れのない材料を使用してください。

吊戸棚が落下して、けがをする恐れがあります。



(3) コンクリート壁への固定

警告

- コンクリート面への吊戸棚の固定方法は必ず守る。

取り付けに不備があると、吊戸棚が落下し、けがの原因となります。

- コンクリートへの穴あけは必ずφ6mmのコンクリート用ドリル刃を使用する。

穴が大きいと、アンカープラグが抜けて吊戸棚が落下し、けがの原因となります。

- アンカープラグの向きを確認し、正しく取り付ける。

アンカープラグの向きを間違えると、吊戸棚が落下し、けがの原因となります。

<コンクリート面に直接固定する場合>

- 標準品には首下65mmのコーススレッドが付属されているので、市販の首下50mmのコーススレッドを別途購入し、付属の首下65mmのコーススレッドと交換して吊戸棚を固定する。

コーススレッドが短いと、吊戸棚が落下し、けがの原因となります。

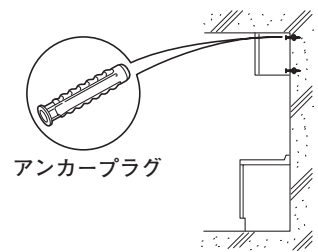
<コンクリート面と吊戸棚の間に内装材などが入る場合>

- 吊戸棚の固定強度は、コンクリート壁に打ち込んだアンカープラグで吊り強度保持するよう内装材の厚みを考慮して、コーススレッドの首下長さを選定し、市販のものを別途購入する。（50mm+内装材厚みが目安の首下長さ）付属の首下65mmのコーススレッドと交換して吊戸棚を固定する。

コーススレッドが短いと、吊戸棚が落下し、けがの原因となります。

< 必要部品 >

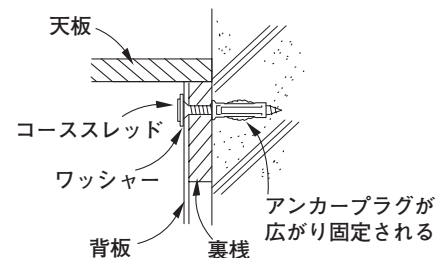
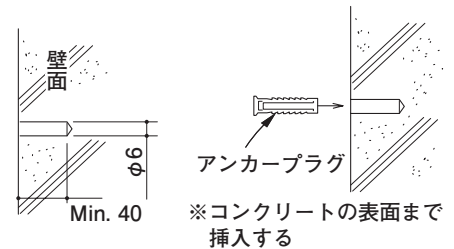
- ・アンカープラグ 推奨：fischer 社製ナイロン系プラグ
品番：SX6x30 若しくは同等品
- ・コーススレッド M4 (4mm) ～ M5 (5mm) 首下長さ：50mm
※使用するアンカープラグに合わせて、径・首下長さ (Min.50mm) を選定して下さい。
※アンカープラグ及び取り付け用コーススレッドは、別途手配して下さい。(同梱されていません。)



アンカープラグの取り付け方法

- ①吊戸棚を所定の位置にセットし、下穴の位置出しを行ってから、コンクリート壁にφ6mmのドリルで下穴をあける。(深さ：Min. 40mm)
- ②アンカープラグをハンマーで軽く叩きながら、下穴に打ち込む。
- ③吊戸棚を所定の位置にセットし、市販のコーススレッドを締めつけて、吊戸棚をコンクリート壁に固定する。

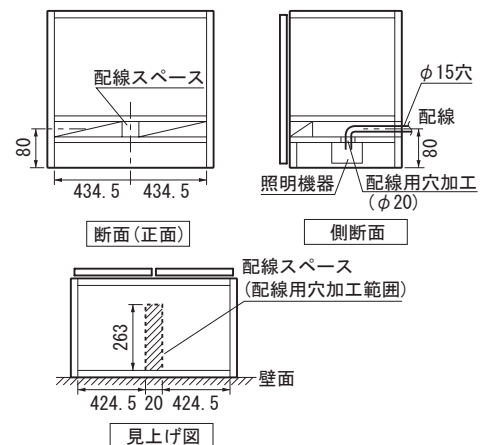
※上記手順は、推奨のアンカープラグを使用する場合のものです。同等品を使用する場合は、各々の取り付け手順に則り、取り付けして下さい。



(4) 照明スペース付吊戸棚

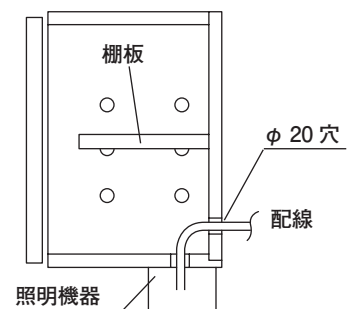
- ①照明機器の取り付け方法、取り付け位置は照明機器の取付・設置説明書を参考に行ってください。
- ②底板の間口方向の中央部は中空状の配線スペースになっています。配線スペースの範囲内で底板下面に取付ける照明機器に合わせて配線用穴 (φ20) を開けてケーブルを引き込んでください。

- ・照明機器は付属されていません。市販品の照明をご用意ください。
- ・照明取付スペースの寸法は、幅869×奥行き313×高さ70mmです。照明取付スペース内に収まる照明機器をお選びください。



(5) 吊戸棚に別売の照明を取り付ける場合

- ①配線をキャビネット内に通す場合は、最下段の棚板より下面の背板に、φ20の穴をあけてください。
- ②照明機器の取付・設置説明書を参考に、吊戸棚底板に配線用穴をあけ、照明機器を取り付けてください。



照明器具の取り付けは器具本体の取付設置説明書に従って空転しないように手回しドライバーで取り付けしてください。

不燃吊戸棚に取り付けする場合は、消防法の離隔距離を確保して取り付けしてください。

警告

- 配線工事は関連する法令、規定に従って必ず「有資格者」が行う。

接続や固定が不完全な場合は発煙や、火災の原因になります。

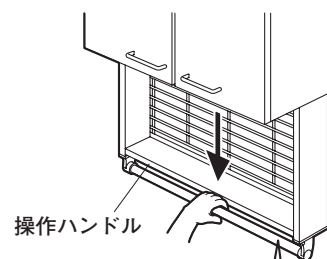


(6) プルダウンラック付吊戸棚

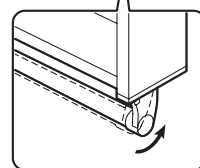
昇降ユニットを降ろしてください。

① 昇降ユニットの操作方法

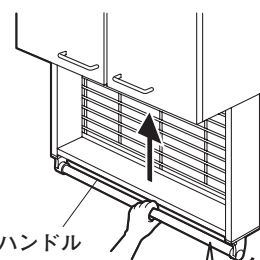
- 昇降ユニットを降ろす（プルダウンラック付き吊戸棚のみ）
操作ハンドルの中央付近をしっかりと握り、ロック状態のままゆっくり下に引き降ろします。
（降ろす際は、特にハンドルを手前に引く必要はありません）
※積載物が軽い場合、強く引く必要があります。



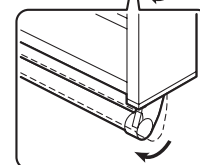
ロック状態
手を離すとハンドルが
ロック位置に戻ります



- 収納ユニットを上げる（プルダウンラック付き吊戸棚のみ）
操作ハンドルの中央付近をしっかりと握り、ハンドルを手前に引き、ロック解除状態にし、ハンドルを握ったままゆっくりと昇降ユニットを上げます。
操作ハンドルから手を離す際は、操作ハンドルをロック状態に戻してから離してください。
※ 積載物が軽い場合、収納カゴが急激に引き上げられますので特に注意してください。



操作ハンドル



ロック解除状態
手前に引く

- ・吊戸棚を壁面に取り付ける際に背板ガードが邪魔になる場合は昇降ユニットを少し下げてください。

⚠ 注 意

- 昇降ユニットを下げて作業する際は、必ず操作ハンドルをロック状態にし、操作ハンドルに触れたり、衝撃をあたえないように十分注意の上、作業する。



ロックが解除され昇降ユニットが急に上昇し、けがをするおそれがあります。

- ・照明スペースがある場合

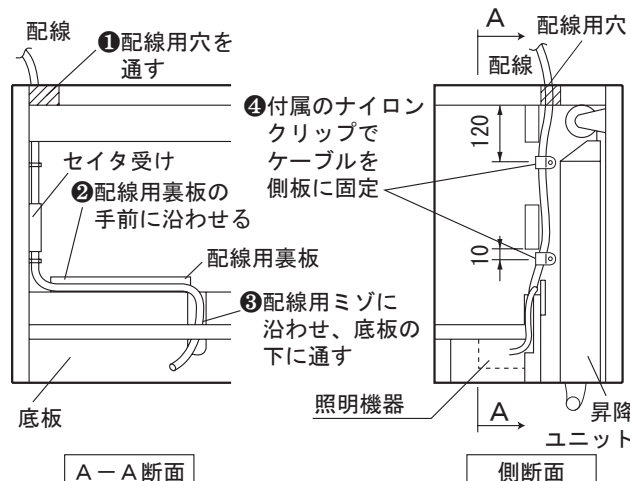
- 照明用の配線をする際は以下の点にご注意ください。

- ① 吊戸棚上面の配線用穴を通し、側板内側に沿って下におろす。
- ② 配線用裏板の手前に沿って中央に伸ばす。
- ③ 配線用ミゾに沿って下におろし、底板の下に通す。
- ④ 配線ができれば必ず配線ケーブルを、付属のナイロンクリップとねじ（トラスタッピン $\phi 3.5 \times 13$ ）を使って側板に固定してください。

⚠ 注 意

- 配線ケーブルは側板に確実に固定する。

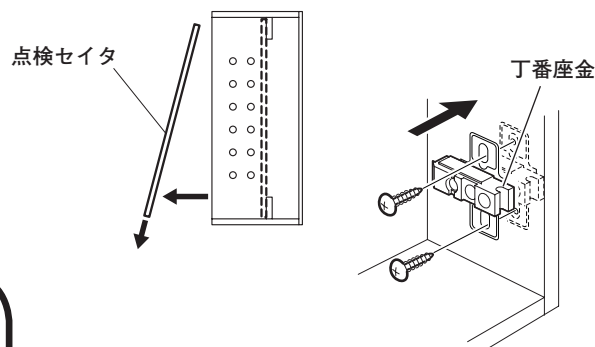
配線ケーブルが奥にたわみ、昇降ユニットやケーブルが破損するおそれがあります。



点検セイタを⑦ページで外した時の逆の手順で取り付け
てください。

丁番座金を取り付けてください。

断面図



⚠ 注 意

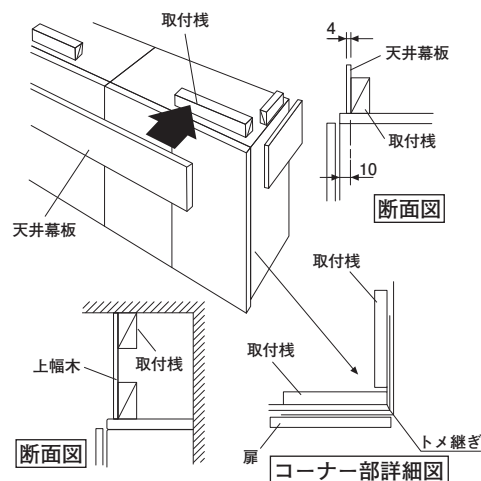
● 確実に固定する。



確実に固定しないと落下するおそれがあり
ます。

2. 天井幕板を取付ける場合（別途手配）

- ・天井幕板はH=300mmで納入されます。
- ・天井幕板を現地にて天井高さ、キッチン間口に合わせ
カットしてください。
- ・吊戸棚キャビネット前面より10mm下げた位置に取付棧
（別途）を取り付け、カットした天井幕板を市販の接着
剤（酢ビ系又は変性シリコン系）で取付棧に貼付けして
ください。
※接着剤硬化までに時間が必要となりますので必ず両面
テープ（現場用意）や隠しくぎ（現場用意）を併用して
貼付してください。
- ・取付棧を吊戸棚内部より木ねじで固定する場合は必ず下
穴をあけてください。
- ・天井高さが高い場合には天井面にも固定棧を取付し確実
に貼付けしてください。



天井への取付棧の取付けは、大工工事区分です。

⚠ 警 告

● 天井に取付棧が必要な場合



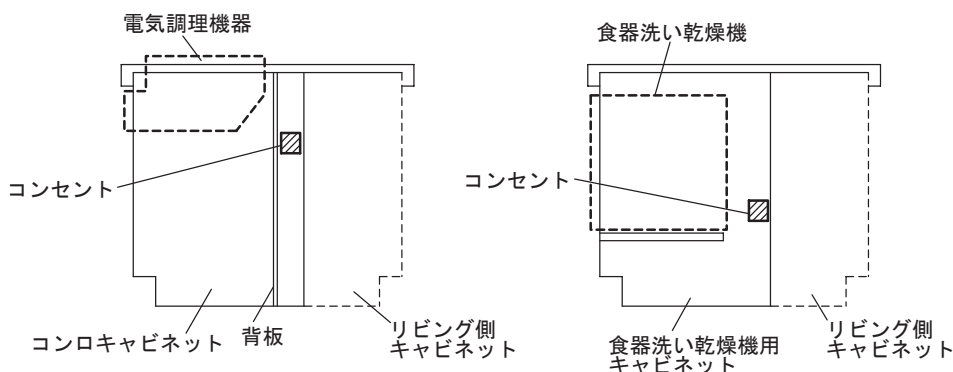
天井への取付棧の取付は関連する法令、規定に従って必ず「有資格者」が行う。

3. フロアキャビネットの取り付け

(1) 給水・給湯・排水・ガス配管・電気配線・排気口の確認

給水・給湯・排水口・ガス配管・電気配線・排気口位置は別途取付・設置図を参照して、建て屋工事の段取りに合わせて工事依頼してください。

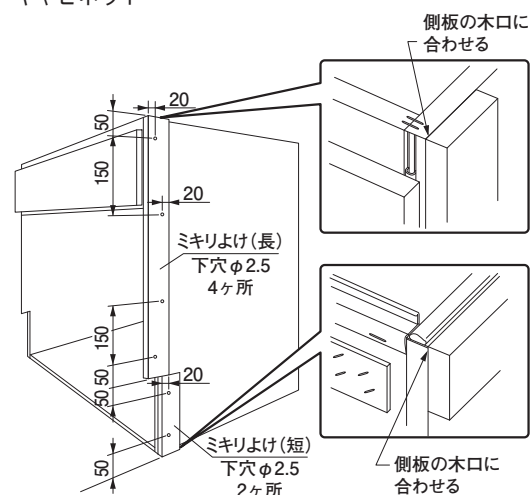
対面型のプランはコンセントを取り付ける壁面がありませんので、図のようにキャビネットの側板にコンセントを取り付けてください。取り付けの高さはキッチン取付・設置図に準じてください。



(2) 事前準備

・シンクキャビネット、コンロキャビネット(ミキリよけ同梱の場合)

- ① 図の位置に従ってミキリよけに下穴(φ2.5)をあけてください。
- ② キャビネットの木口面とミキリよけの木口面をそろえて、外側から付属のねじ(サラタッピンねじφ3.5×25)でしっかり止めてください。
※ミキリよけは木口が白い面を手前にして取り付けてください。
※ねじを締付すぎるとキャビネット内側に突出するおそれがありますので注意してください。

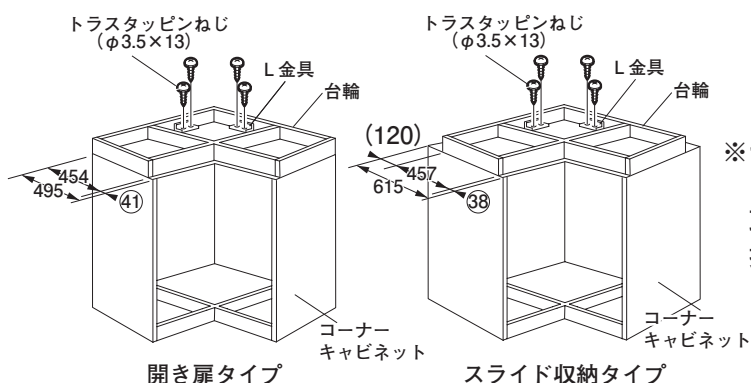


・コーナーキャビネット

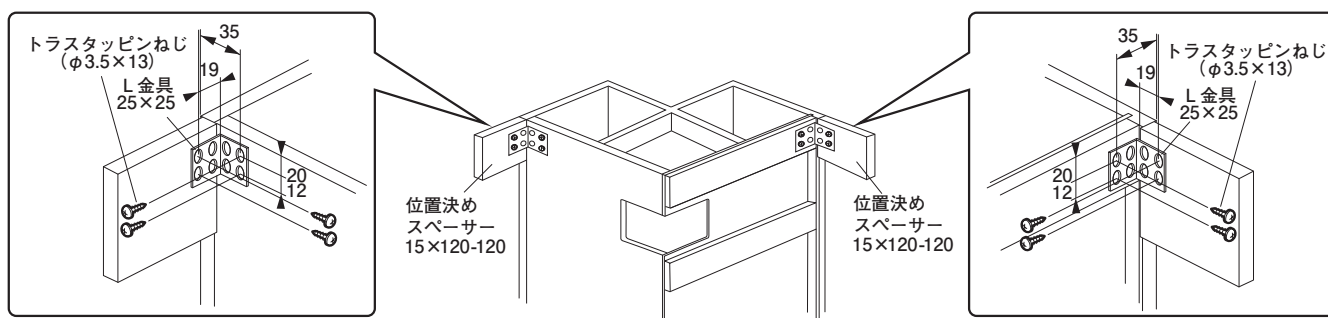
底面に台輪を取り付けます。

スライド収納タイプの台輪には引き出しが付いていますので引き出しを取り外してから台輪を取り付けてください。

開き扉タイプの場合はキャビネットに付属している位置決めスペーサーをキャビネットの側板背面上部にL金具で取り付けてください。



※台輪の取り付け位置はキャビネットタイプにより異なります。必ず○印の寸法に従い、台輪を取り付けてください。取付寸法がずれると、隣接するキャビネットとの木口面が合わなくなります。

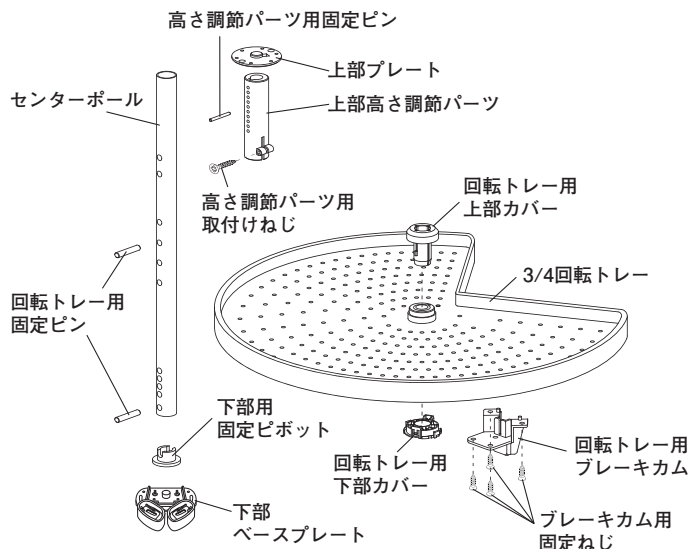


・回転トレー付コーナーキャビネット

回転トレーを取り外してからトップ固定及び人工大理石製トップL型接続をしてください。

キャビネットがねじれた状態で設置しないでください。引き出しが閉まらなくなります。

各部の名称



① 扉をキャビネットから取り外します。

② 高さ調整パーツ用取付けネジをゆるめて高さ調整パーツ用固定ピンを抜き上部高さ調整パーツを下方向へ下げて、センターポールを上部プレートより外します。

(注) 高さ調整パーツ用取付けねじを締め付ける時は、ネジ先端部が突き抜けない範囲で締め付けてください。

③ センターポールを上方向に引き上げて下部ベースプレートより外します。

④ 回転トレー用上部カバーを回してゆるめ、上側トレー、下側トレーを持ち上げて回転トレー用固定ピンを外します。

⑤ 下側及び上側のトレーをセンターポール中央付近へ移動し、センターポール上部をキャビネット奥方向に傾け上部高さ調整パーツを引き抜きます。

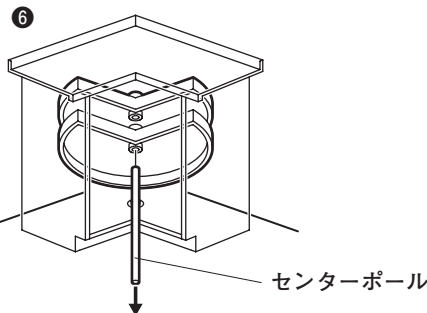
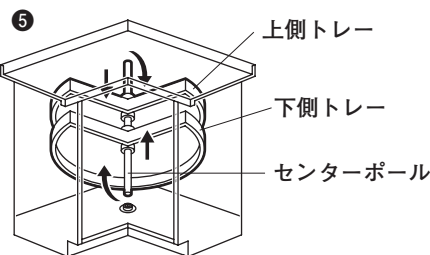
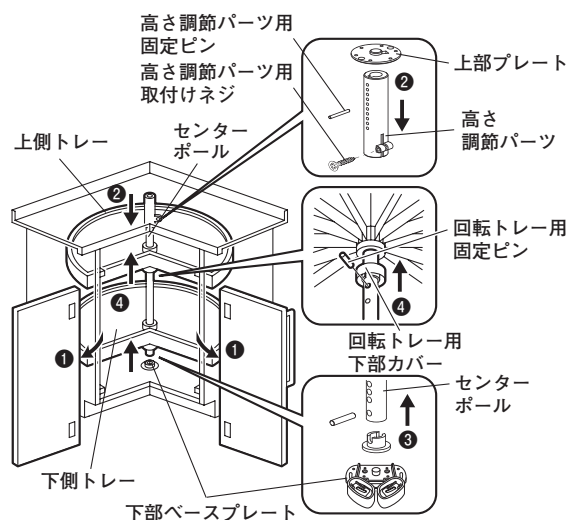
⑥ センターポールを手元に抜きながら2枚のトレーを外します。

⑦ この際キャビネット底板及び床面を傷付けないように作業してください。

(注) ポール端部に触れないでください。手を切ったりけがをすることがあります。

⑧ 5.(1) ワークトップの取り付け (20ページ) に従ってワークトップをキャビネット連結及び人工大理石トップのL型接続をします。

⑨ 回転トレーを取り外した順番と逆の順番で取り付けます。



⚠ 注意

- 引き出しを開ける際はキャビネットがバランスをくずし倒れないようにキャビネットを押さえる。

(3) フロアキャビネットの取り付け

フロアキャビネットの取り付け

①設置する床面の木くず、ゴミを取り除いてからキャビネットを並べます。

- ・壁面隅部に周辺収納用ハイフロアコーナーキャビネットを設置する場合はハイフロアコーナーキャビネットを設置してからフロアキャビネットを並べます。
- ・ビルトイン食器洗い乾燥機・オープンなどが有る場合はそれらの設置説明書に従い設置寸法を空けてフロアキャビネットを並べます。
- ・L型配置の場合は壁面コーナー側から並べます。I型配置で片側がオープンの場合は反対の壁面より並べます。

②水平器でフロアキャビネットの水平を出してキャビネットを並べます。

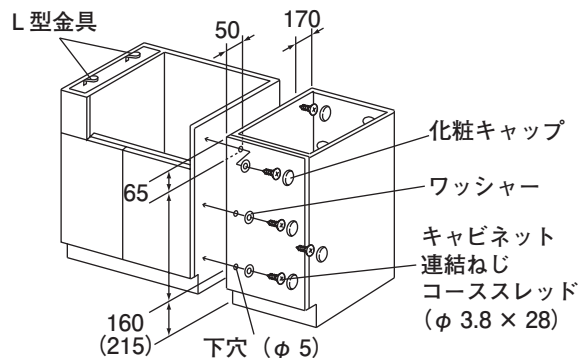
- ・キャビネットと床の間に付属のスペーサーを使用して水平になるように調整してください。
- ・隣のキャビネットと前面・上面を合わせてクランプで固定して位置を合わせてください。クランプ固定の際はキャビネットに傷が付かないように注意してください。
- ・キャビネットがねじれた状態で設置しないでください。引き出しが閉まらなくなります。
- ・ねじを通す側のキャビネット側板に下穴を3ヶ所あけ、キャビネット連結ねじ（コーススレッドφ3.8X28）にワッシャーを通して隣のキャビネットと連結します。連結後ワッシャーに化粧キャップを取り付けます。連結位置は図を参照してください。

③間口900・750のシンクキャビネットは付属のL金具をコンロキャビネットと反対側の図の位置に取り付けます。

④フロアキャビネットを壁面・床面へ取り付けます。

■スライド収納タイプ

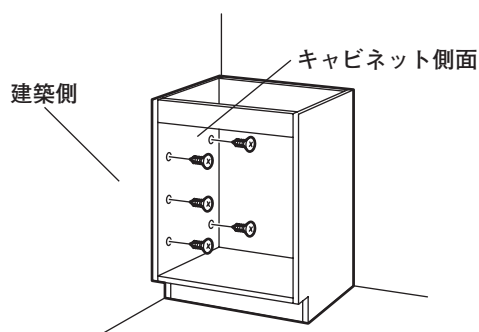
- ・キャビネット転倒防止のため、キャビネット底板の下穴に付属のキャビネット固定ネジにワッシャーを通して床面へ向かって固定してください。固定後ワッシャーに化粧キャップを取り付けてください。



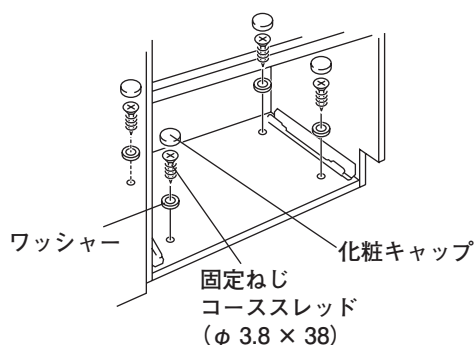
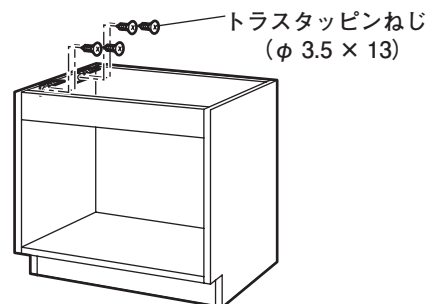
(注) 製品の間口及びレイアウトにより連結ネジ位置及び本数は異なります。

(注) 連結ビス高さ位置は、周辺部品に干渉しない位置で固定してください。引き出しレールやソフトモーション機構取付ネジと干渉するおそれがあります。

(注) 開き扉は（ ）内寸法で下穴をあけて下さい。



(注) キャビネット側面と建築側との間にすき間がある場合は、スペーサーをはさみ、すき間を無くしてから固定してください。すき間があるとキャビネット側面が外れる場合があります。



■開き扉タイプ・エントリースライドタイプ

● 壁付レイアウトの場合

- 1) 配管カバーをシンクキャビネットから取り外します。外し方は、②ページ(3) 排水ホースの取り付け❶を参照ください。
- 2) シンクキャビネットをL金具 25×25 (シンクキャビネットに付属) を使って床面に固定してください。
- 3) シンクキャビネットをコマ(木) 18×40－100 (シンクキャビネットに付属) を使って、壁面に固定してください。
- 4) コンロキャビネット及び調理台キャビネットをL金具25×25 (コンロキャビネット、調理台キャビネットに付属) を使って床面に固定してください。

⚠ 注 意

- 製品は、壁面にしっかりと固定する。

製品が倒れてけがをするおそれがあります。



● 対面レイアウトの場合

- 1) 配管カバーをシンクキャビネットから取り外します。外し方は、②ページ(3) 排水ホースの取り付け❶を参照ください。
- 2) シンクキャビネットをL金具 25×25 (シンクキャビネットに付属) を使って床面に固定してください。
- 3) コンロキャビネット及び調理台キャビネットをL金具25×25 (コンロキャビネット、調理台キャビネットに付属) を使って床面に固定してください。

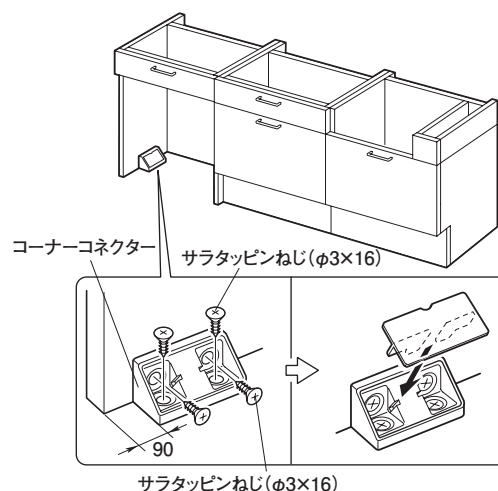
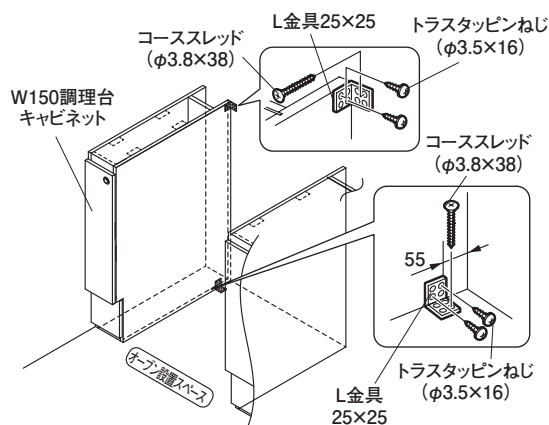
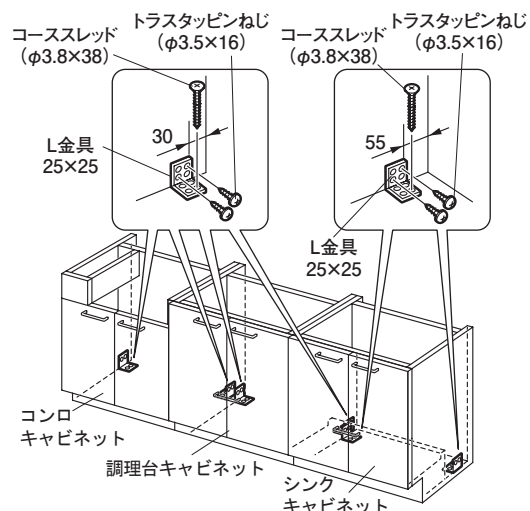
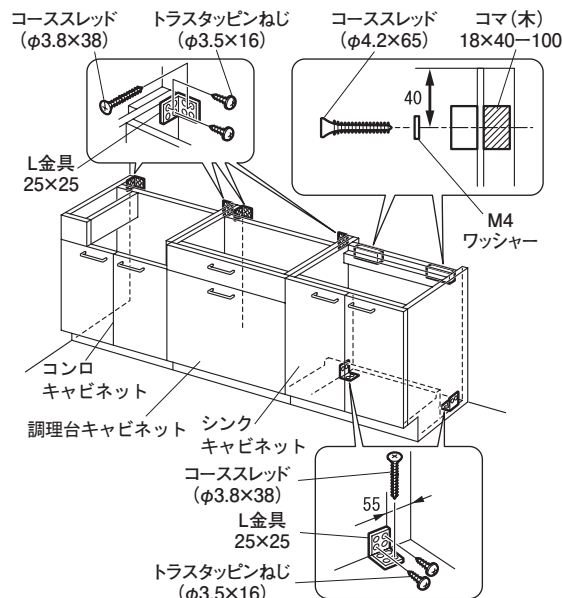
● オープン付きプランの場合 (W150調理台キャビネット)

- 1) オープンの設置説明書に従い、必要な設置寸法を空けてフロアキャビネットを並べてください。
- 2) W150調理台キャビネットをL金具25×25 (調理台キャビネットに付属) を使って床面、及び壁面に固定してください。

■ ニースペースシンクキャビネットの隣に壁またはキャビネットが隣接しない場合

- 1) 側板内側手前部分(ケコミ付近)を部品袋のコーナーコネクターで固定してください。
- 2) コーナーコネクターを固定したら、付属のキャップを被せてください。

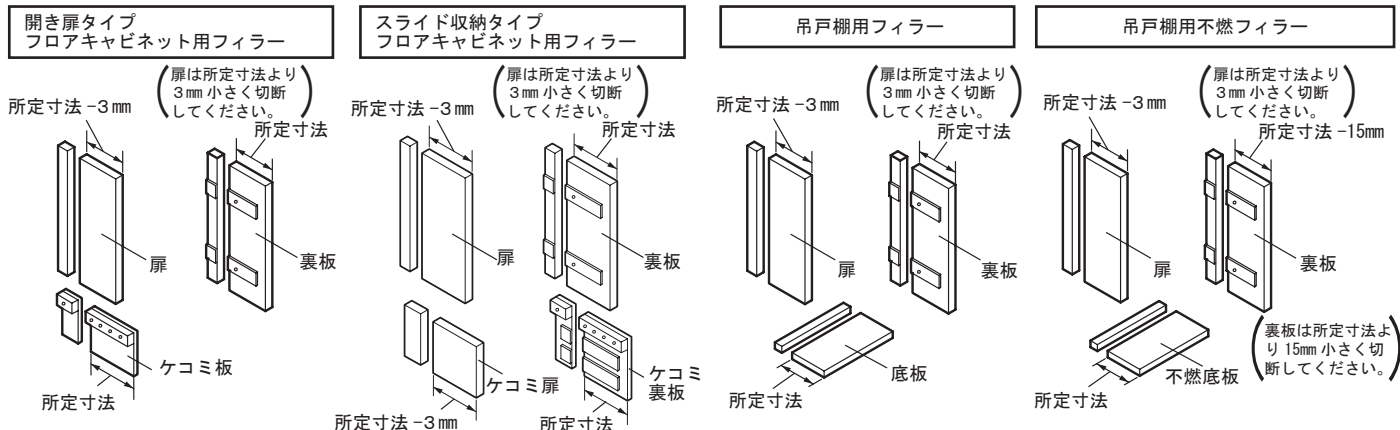
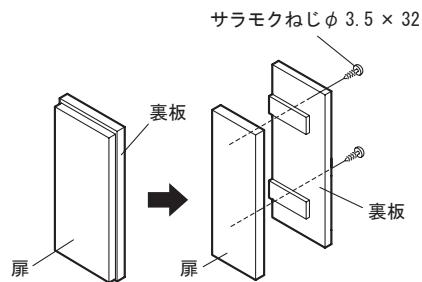
※ コーナーコネクターと取付用ねじは、取扱説明書と一緒にシンクキャビネットに同梱しています。



4. フィラーの取り付け

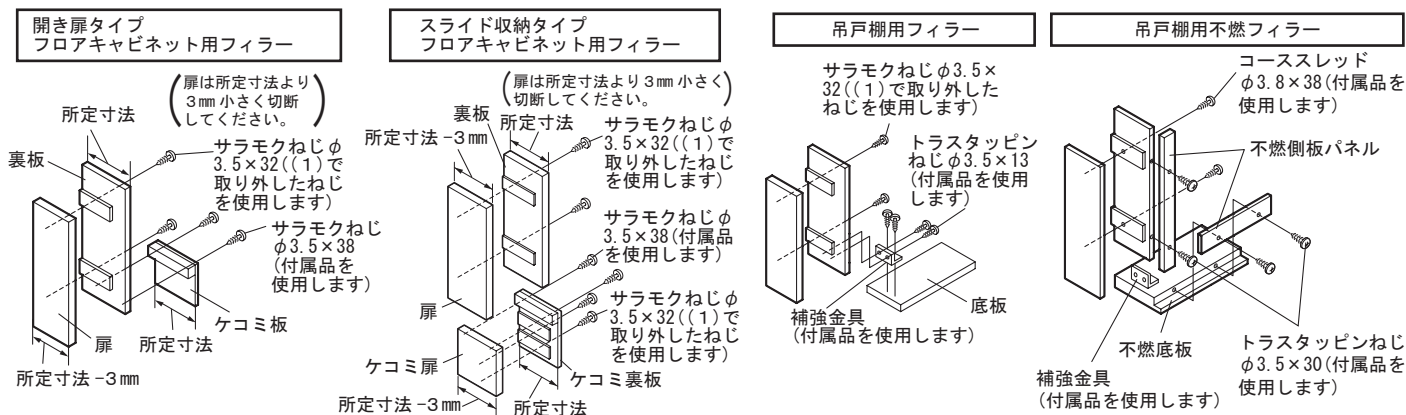
(1) フィラーの加工

- 扉と裏板を固定しているねじを外し、分解する。
※フロア・吊戸棚共通
(吊戸棚用不燃フィラーは扉と裏板が固定されていませのでこの作業は不要です)
- 各部材を所定寸法に切断する。
(注: フィラーは壁面側を切断してください)



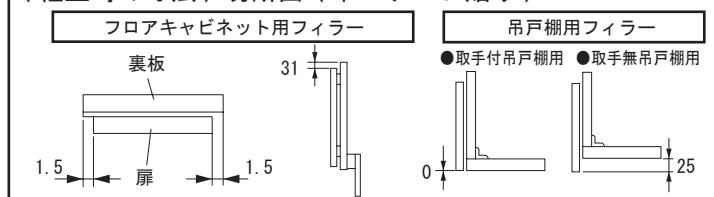
- 扉の切断面に別売品の木ロテープ (#FKGT-*) をゴム系接着剤にて貼り付けてください。

(2) フィラーの組立

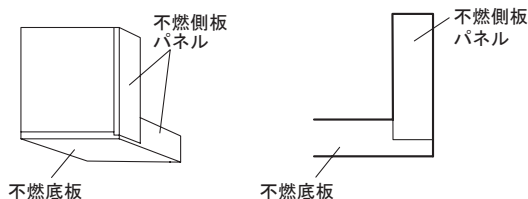


※ねじを締付すぎると扉表面にねじが突出したり、空転し落下のおそれがありますので注意してください。

(組立時の寸法) 切断面 (木ロテープ貼り)

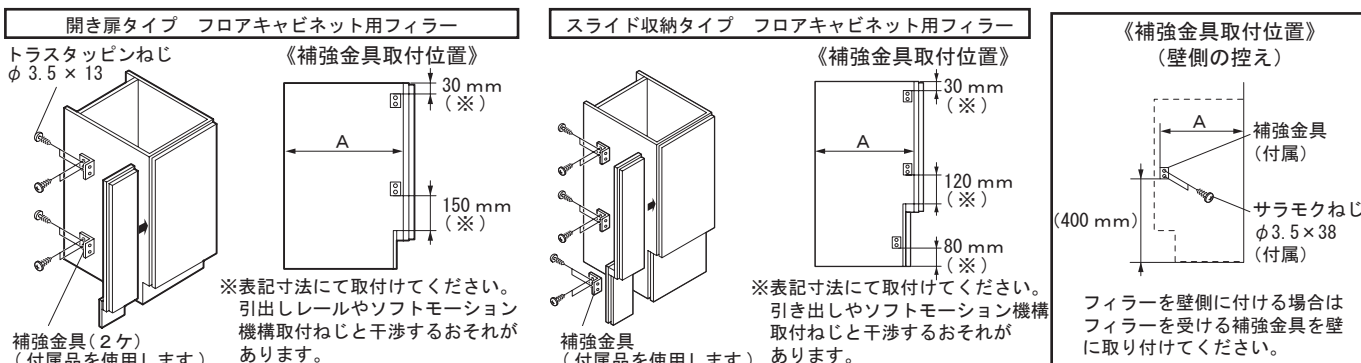


- 不燃側板パネルがフード側になるように組み立ててください。



(3) フィラーの取付

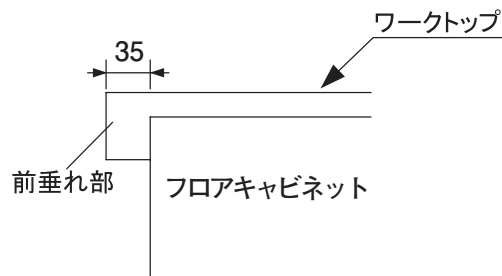
- 付属の補強金具とねじを使用して、隣接するキャビネットにフィラーを取り付けてください。



5. ワークトップの取り付け

(1) ワークトップの取り付け

- ① シンク側のワークトップの前垂れ部がキャビネットにのらないように注意して上からかぶせるように設置します。
- ② コンロ側のワークトップをのせシンク側及びコンロ側ワークトップ前面はフロアキャビネットから35mmが基準寸法です。ワークトップを前後左右に動かしてL型接合部や各部の納まりを調整します。
- ③ ワークトップとフロアキャビネットは後面及び側面を合わせて設置します。



警告

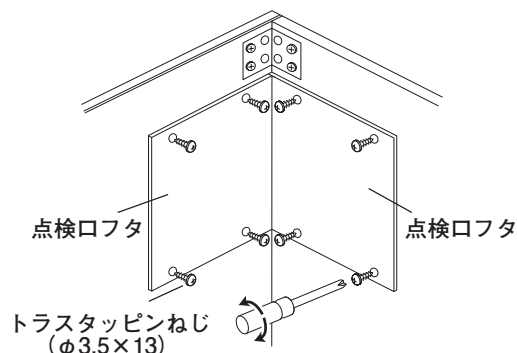
- ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱う時は、必ず保護手袋をする。

切断面にさわると、けがをするおそれがあります。



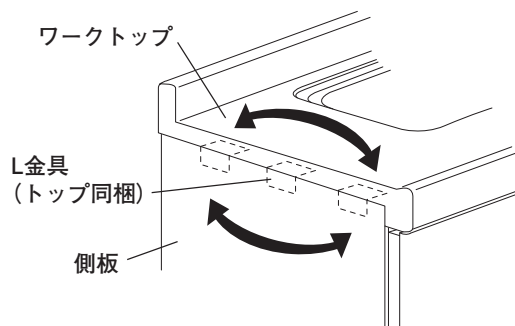
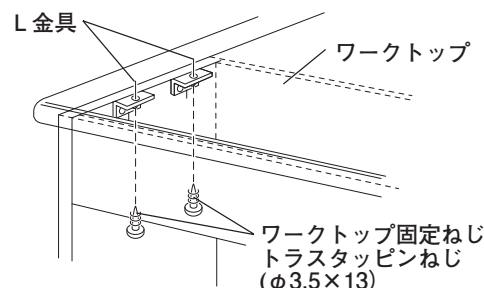
- ④ L型コーナー部の接続をします。接合方法はワークトップに同梱されている説明書を参照してください。(L型トップの場合) 回転トレー付キャビネットの場合は、回転トレーを取外してからトップ固定及び人工大理石製トップL型接続をしてください。(16ページ参照)

開き扉タイプの場合は、コーナーキャビネットの点検口フタを固定しているねじ(8ヶ所)をプラスドライバーにて取り外し、点検口フタを取り外してから人工大理石製トップL型接続をしてください。



- ⑤ シンク側のワークトップをキャビネット側板に取り付けてあるL金具のねじ穴よりワークトップに向かって付属のワークトップ固定ねじで固定してください。次にコンロ側のワークトップをキャビネット側板に取り付けてあるL金具のねじ穴よりワークトップに向かって付属のワークトップ固定ねじで固定してください。(I型・L型トップ)

※ベースキャビネットの側板やワークトップの反りにより、キャビネットとワークトップの端が合わない場合はワークトップ付属のL金具を追加でキャビネットに取付し反りが発生し揃わない箇所(ワークトップ又は、側板)を押しながら反りを矯正し端面を合わせて固定してください。



注意

- 固定ねじは必ず指定のねじを使用する。

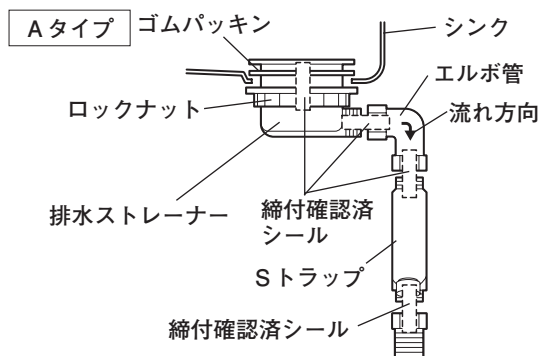
ねじが貫通して、ワークトップにキズ・割れが出ます。



(2) 排水ストレーナーの取り付け

Aタイプ

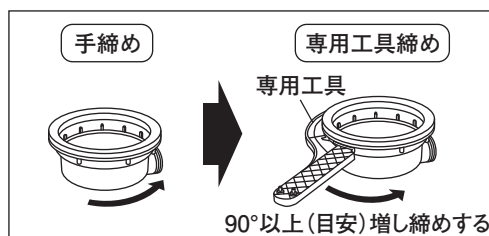
- ① シンク排水口穴に排水ストレーナーを、エルボ管が背面になるような位置でロックナットを手で止まる位置まで締め付けてください。



②エルボ管を接続した後、ロックナットを専用工具（別売）で増し締めして排水ストレーナーをシンクに固定してください。

（注）締め付け工具は製品に含まれていません。
別途ご用意ください。

※別売の工具もご用意しております。
型式:NAGASHI-PCSPT145



注意

- シンク締込部各パッキン密着部は、ゴミやホコリなどを確実に取り除く。

ゴミやホコリなどが残っていると、パッキンが密着せずに漏水するおそれがあります。

- シンク締込部各パッキンに「ねじれ」や「はみ出し」がないことを確認する。

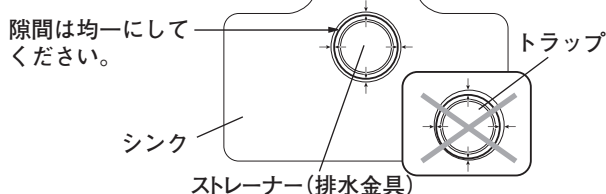
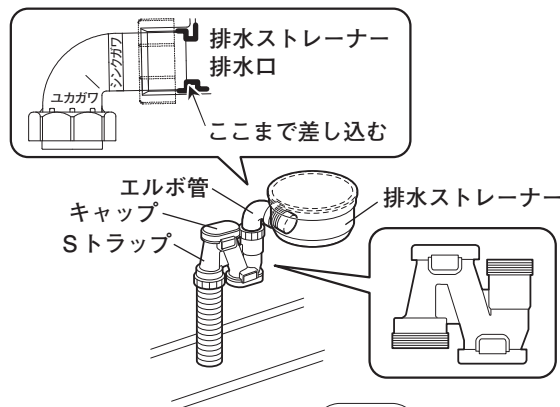
「ねじれ」や「はみ出し」があると、漏水するおそれがあります。

排水ストレーナー排水口穴にエルボ管の『シンクガワ』刻印側を突き当たるまで差し込んで袋ナットで接続してください。Sトラップがキャビネット背板と平行になるように取り付けてください。

取り付け完了後、付属の締付確認済シールを4枚貼りつけてください。

（注）①ゴムパッキンはシンク内に位置するように取付けてください。

②Sトラップ本体のキャップはゆるめたり、外したりしないでください。



Bタイプ

- ①排水口の上から排水金具、ゴムパッキンを落とし込んでください。

- ②ロックナットをシンク下から手で止まるまで締め付け後、専用工具（別売）で増し締めしてください。

（注）締め付け工具は製品に含まれていません。
別途ご用意ください。

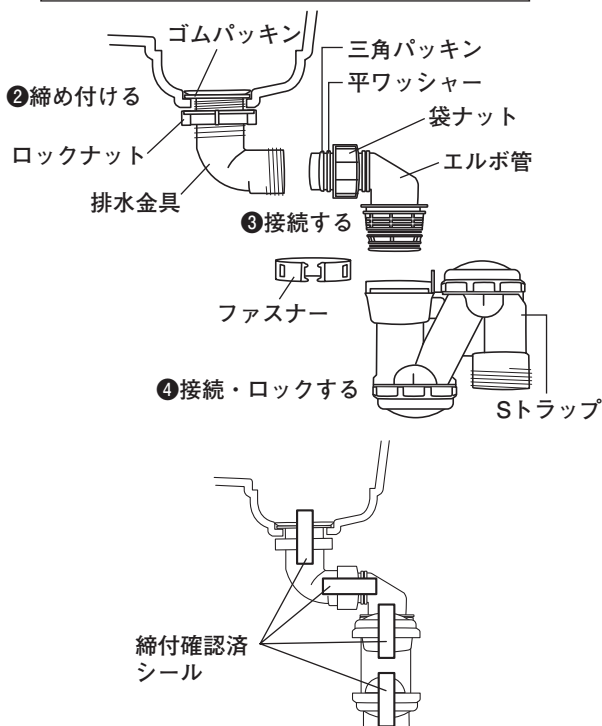
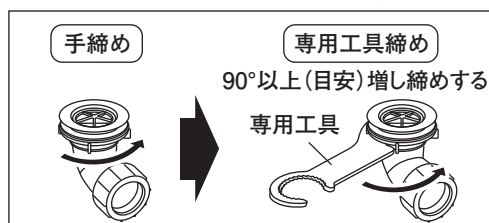
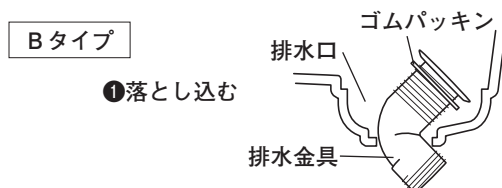
※別売の工具もご用意しております。
型式:MK-SIMEGU-PT



- ③排水金具と三角パッキン、平ワッシャーを取り付けたエルボ管を袋ナットで接続してください。

- ④エルボ管をSトラップに突き当たるまで差し込んで接続してください。その後、接続部にファスナーを取り付けてロックしてください。

- ⑤Sトラップ他の排水部品を取り付け完了後、付属の締付確認済シールを4枚貼りつけてください。



Cタイプ

①シンク排水口穴に排水ストレーナーを、エルボ管が背面になるような位置で**ロックナット**を手で止まる位置まで締め付けてください。

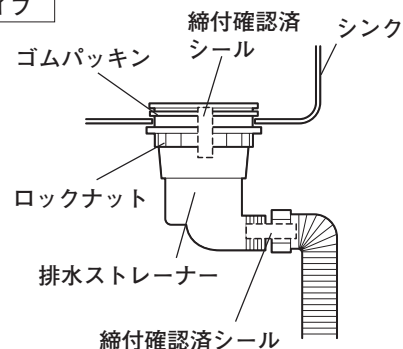
②**ロックナットを専用工具（別売）で増し締め**して排水ストレーナーをシンクに固定してください。

（注）締め付け工具は製品に含まれていません。
別途ご用意ください。

※別売の工具もご用意しております。
型式:NAGASHI-PCSPT145



Cタイプ



注意

●シンク締込部各パッキン密着部は、ゴミやホコリなどを確実に取り除く。

ゴミやホコリなどが残っていると、パッキンが密着せずに漏水するおそれがあります。



●シンク締込部各パッキンに「ねじれ」や「はみ出し」がないことを確認する。

「ねじれ」や「はみ出し」があると、漏水するおそれがあります。



取り付け完了後、付属の締付確認済シールを2枚貼りつけてください。

（注）ゴムパッキンはシンク内に位置するように取り付けてください。

(3) 排水ホースの取り付け

■開き扉タイプ・エントリースライドタイプ

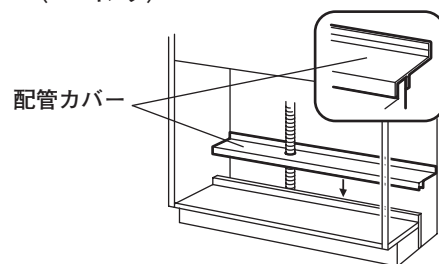
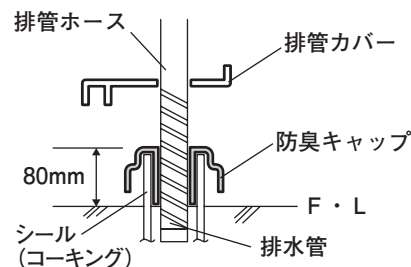
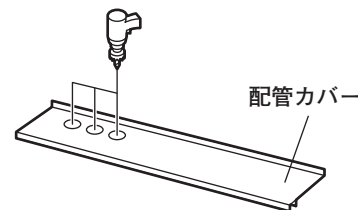
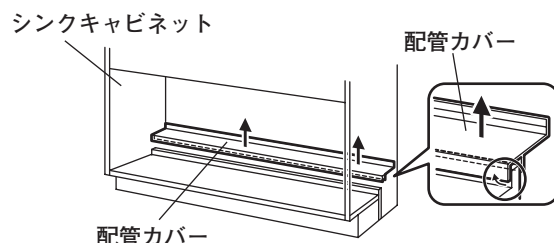
①配管カバーをシンクキャビネットから取り外します。

②配管カバーに排水ホース用の穴（φ40）を開けてください。給水、給湯管が床立上げの場合は給水、給湯用の穴を開けてください。穴開け位置はキッチン取付・設置図を参照してください。

③排水ホースに配管カバー、防臭キャップを通し、床面より立ち上げられている排水管に挿入してください。排水ホースが長い場合は排水管の立ち上げ寸法に合わせて先端をカットしてください。排水ホースが長いと、ホースの内部に水が残り水の流れが悪くなります。

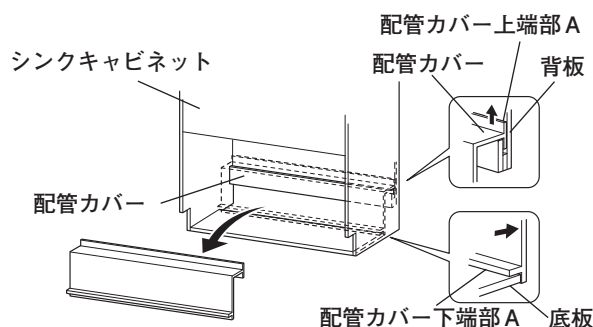
④排水管との接続部に防臭キャップを確実にはめ込み、コーキングにてシールしてください。

⑤配管カバーを元の位置に取付けます。



■スライド収納タイプ(マルーレ・カナリエ・PK)

①配管カバー下端部Aを奥へ押し込んでシンクキャビネット底板から外して上端部Aを持ち上げてシンクキャビネットから取り外します。



- ②配管カバーに排水ホース用の穴（φ40）を開けてください。給水、給湯管が床立上げの場合は給水、給湯用の穴を開けてください。穴開け位置はキッチン取付・設置図を参照してください。

- ③配管カバーに配管カバー固定用の穴（φ4.0）を開けてください。穴開け位置は、下穴加工寸法図を参照してください。上端部側の下穴位置が、排水ホース、給水、給湯管立ち上げ位置と重なる場合は、重ならない位置へずらしてください。

[mm]

		W1	W2	W3
スライド収納 シンクキャビ	間口900用	868	414	434
	間口750用	718	339	359
間口900 ゴミ箱収納 シンクキャビ	ゴミ箱収納後部	486	223	243
	蹴込み引出し後部	382	171	191

- ④排水ホースに配管カバー、防臭キャップを通し、床面より立ち上げられている排水管に挿入してください。排水ホースが長い場合は排水管の立ち上げ寸法に合わせて先端をカットしてください。排水ホースが長いと、ホースの内部に水が残り水の流れが悪くなります。

- ⑤排水管との接続部に防臭キャップを確実にはめ込んでください。

- ⑥配管カバー下端部Aを底板に載せ、底板側（手前方向）へ引きよせながら、③で開けた下穴を使用してワークトップ同梱の固定ねじ（φ3.5×13）で底板に固定してください。ねじ取り付け時は、長めのドライバーを使用して、斜めにならないように締め付けてください。

- ⑦配管カバー上端部Bを、シンクキャビネット背板の溝部に差し込んでください。

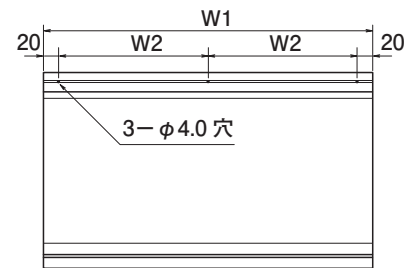
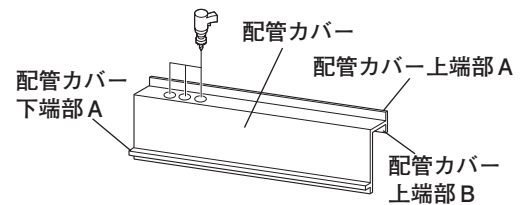
- ⑧配管カバー上端部Aを③で開けた下穴を使用して、ワークトップ同梱の固定ねじ（φ3.5×13）でキャビネット背板に固定してください。（3ヶ所）

■スライド収納タイプ(クルート)

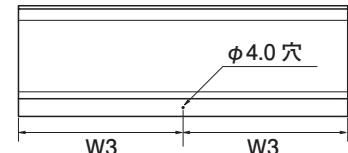
- ①配管カバーを取り外してください。

- ②配管カバーを取り外し、配管スペース板の両端にある、ダボのツマミを内側に引っ張り、配管スペース板を取り外します。

- ③配管カバーに排水ホース用の穴（φ40）を開けてください。給水、給湯管が床立上げの場合は給水、給湯用の穴を開けてください。穴開け位置はキッチン取付・設置図を参照してください。

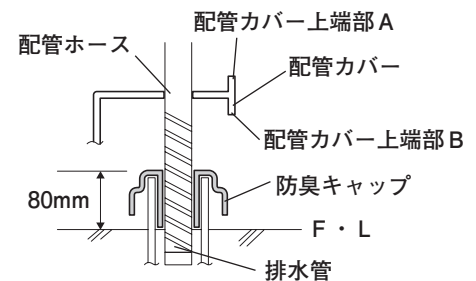


立面図

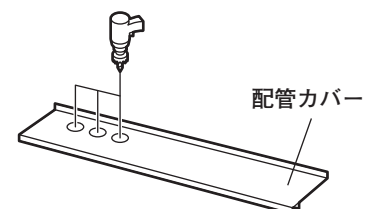
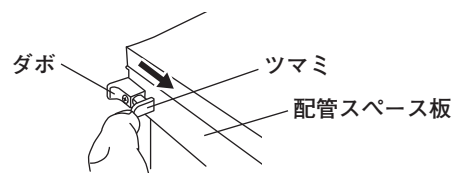
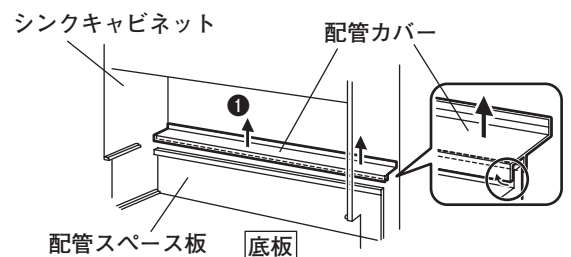
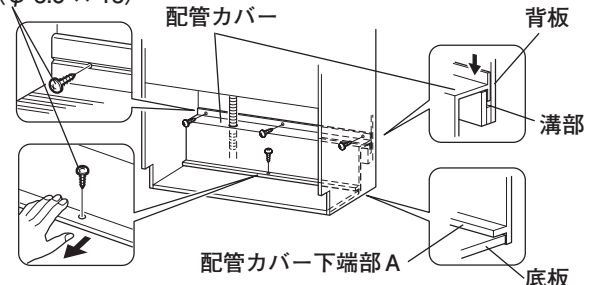


平面図

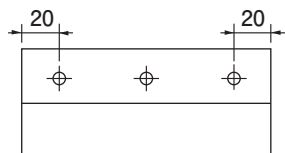
配管カバー下穴加工寸法図



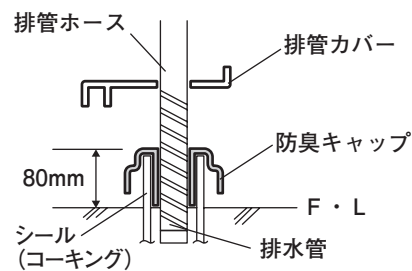
トラスタッピンねじ
(φ3.5×13)



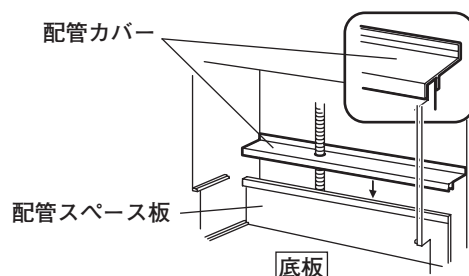
- ④配管カバーに配管カバー固定用の穴（φ4.0）を開けてください。穴開け位置は下穴加工寸法図を参照してください。上端部側の下穴位置が、排水ホース、給水、給湯管立ち上げ位置と重なる場合は、重ならない位置へずらしてください。



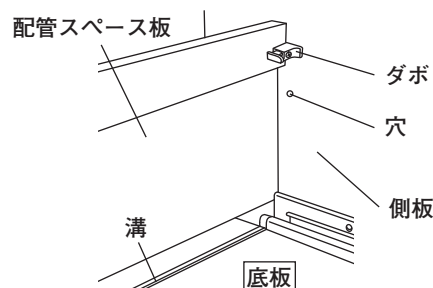
- ⑤排水ホースに配管カバー、防臭キャップを通し、床面より立ち上げられている排水管に挿入してください。
排水ホースが長い場合は排水管の立ち上げ寸法に合わせて先端をカットしてください。
排水ホースが長いと、ホースの内部に水が残り水の流れが悪くなります。



- ⑥排水管との接続部に防臭キャップを確実にはめ込み、コーキングにてシールしてください。

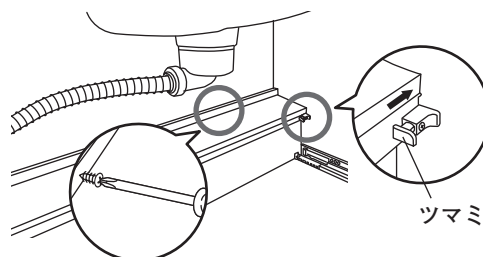


- ⑦配管スペース板の下側を底板の溝に挿し込み、両端のダボを側板の穴合わせながらツマミを押し込み、取り付けます。



- ⑧配管カバーを元の位置に取り付けます。

- ⑨④で開けた下穴を使用してワークトップ同梱の固定ねじ（φ3.5×13）で背板に固定してください。ねじ取り付け時は、長めのドライバーを使用して、斜めにならないように締め付けてください。



⚠ 注 意

- 排水管の立上げ位置は、別途取付・設置図により位置決めを行う。
接続不良や排水能力の低下により、漏水やシンクから水があふれるおそれがあります。
- 排水管の接続後、排水フタを袋に入れたままの状態排水口に設置し、シンクに水を溜めて各接続部より水漏れのないことを確認する。
水漏れにより床が腐るおそれがあります。
- 配管カバーをねじ固定する際に、電動ドライバーを使用する場合は、ねじを締めすぎないでください。
ねじが空回りしてしまったり、背板や底板を破損するおそれがあります。



お 願 い

- 水漏れ確認後は、必ず乾いたやわらかい布で水分をよく吸い取ってください。
水アカやさびの原因になります。



エンドパネルの同梱の取付据置説明書を参照ください。

〈付属部品の確認〉

※表中の■にはシリーズ記号、#には奥行記号が入ります。

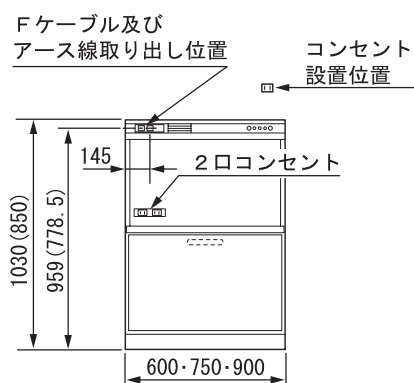
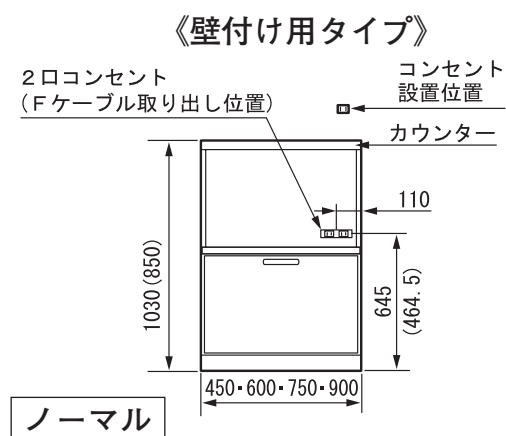
(1) 壁面・床面の仕上げと確認

吊戸棚・ワークユニット⑦ページを参照してください。

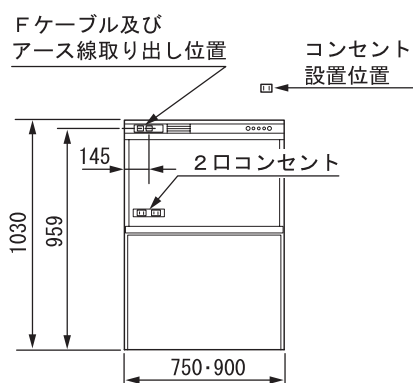
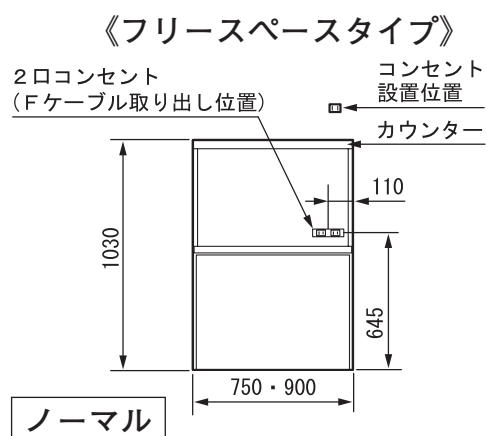
- ・製品を設置する壁面には、図に示す位置に固定できる補強桟が強固に固定されていることと電源があることを確認してください。補強桟は腐れのないものを使用すること。



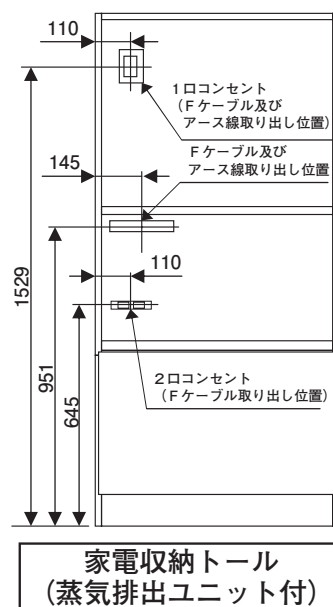
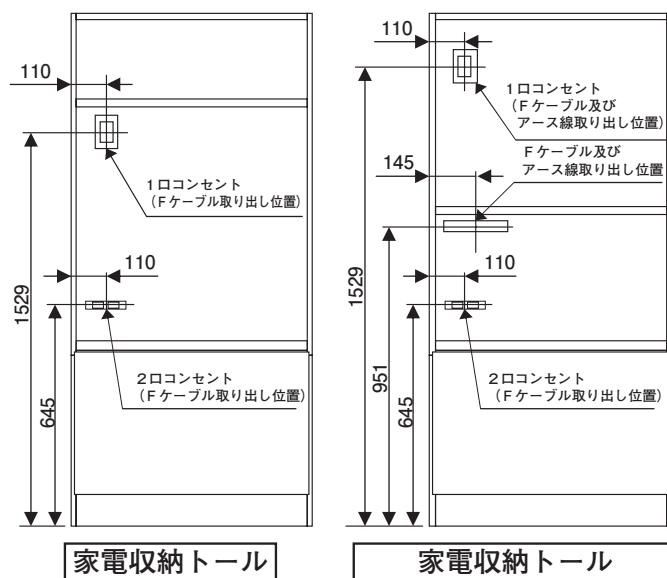
- 家電収納フロアキャビネットの後壁にFケーブル（芯線φ1.6～2.0）を下図の位置に取り出しておいてください。また、カウンターの上に家電品を置いて使用する場合には、上部にもコンセントを設置してください。



※()内寸法は高さ 85 cm タイプを表す。



- 家電収納トールの後壁にFケーブル（芯線φ1.6～2.0）を右図の位置に取り出しておいてください。



(2) 扉・棚板・引出の取り外し

- ・扉・棚板・引出の取り外し方法は③④～③⑦ページを参照してください。

7. 周辺収納用キャビネットの取り付け

(1) キャビネットの配置と取り付け

- ・キャビネットは取付け設置図を参照して並べてください。
- ・設置する床面の木くず、ゴミを取り除いてからキャビネットを並べます。
- ・壁面隅部に周辺収納用ハイフロアコーナーキャビネットを設置する場合はハイフロアコーナーキャビネットを設置してから並べます。
- ・水平器でフロアキャビネットの水平を出してキャビネットを並べます。
- ・キャビネットと床の間に付属のスペーサーを使用して水平になるように調整してください。
- ・隣のキャビネットと前面・上面を合わせてクランプで固定して位置を合わせてください。クランプで固定する際にキャビネットを傷付けないように注意してください。

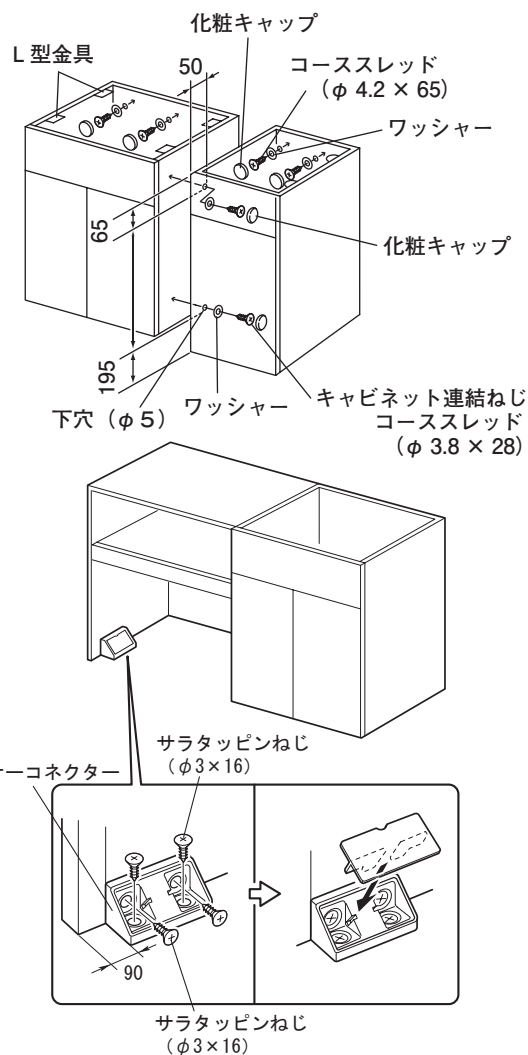
① キャビネットどうしの連結

キャビネットの側板に下穴3ヶ所（右図参照）をあけ、キャビネット連結ネジ（コーススレッドφ3.8×28）にワッシャーを通して隣のキャビネットと連結してください。連結ビス高さ位置は、周辺部品に干渉しない位置で固定してください。引き出しレールやソフトモーション機構取付ねじと干渉するおそれがあります。

② キャビネット背面の固定穴より固定ねじ（コーススレッドφ4.2×65）にワッシャーを通し壁面に固定してください。取付ねじのワッシャーに化粧キャップを取り付けます。

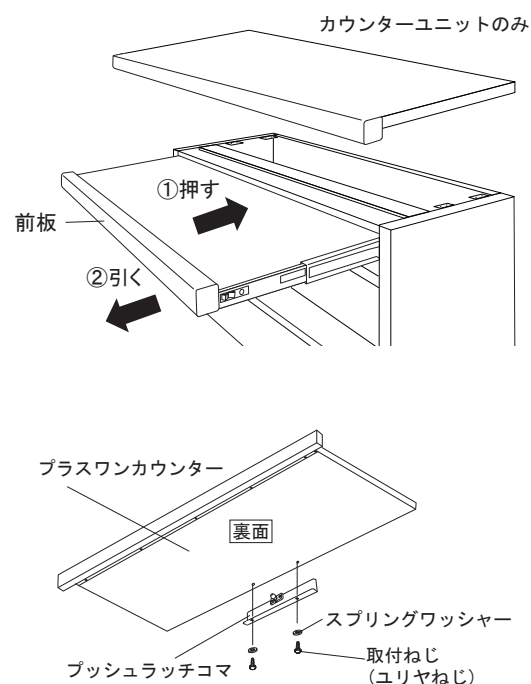
● フリースペース付フロアキャビネットの隣に壁またはキャビネットが隣接しない場合

- 1) 側板内側手前部分（ケコミ付近）を部品袋のコーナーコネクタで固定してください。
- 2) コーナーコネクタを固定したら、付属のキャップを被せてください。



(2) カウンターとプラスワンカウンター付きキャビネットの固定

- ① プラスワンカウンターを途中まで引き出してください。プラスワンカウンターは、プッシュオープン構造になっていますので、前板中央付近を押し、ロックが解除され前板が少し出た後、引き出してください。
- ② プラスワンカウンター裏面後部のユリヤねじを外し、取り付けてあるプッシュラッチコマを外してください。（スプリングワッシャーは、紛失しないよう注意してください。）
- ③ ③①ページの「(6) カウンターの取り付け」を参考にしてカウンターとキャビネットを固定してください。
- ④ ②で取り外したプッシュラッチコマをプラスワンカウンター裏面後部に取り付けてください。



⚠ 注意

- プッシュラッチコマは必ず取り付ける。

取付けないとロックが掛からず、使用時
ものが落下して、けがをするおそれがあります。

⚠ 注 意

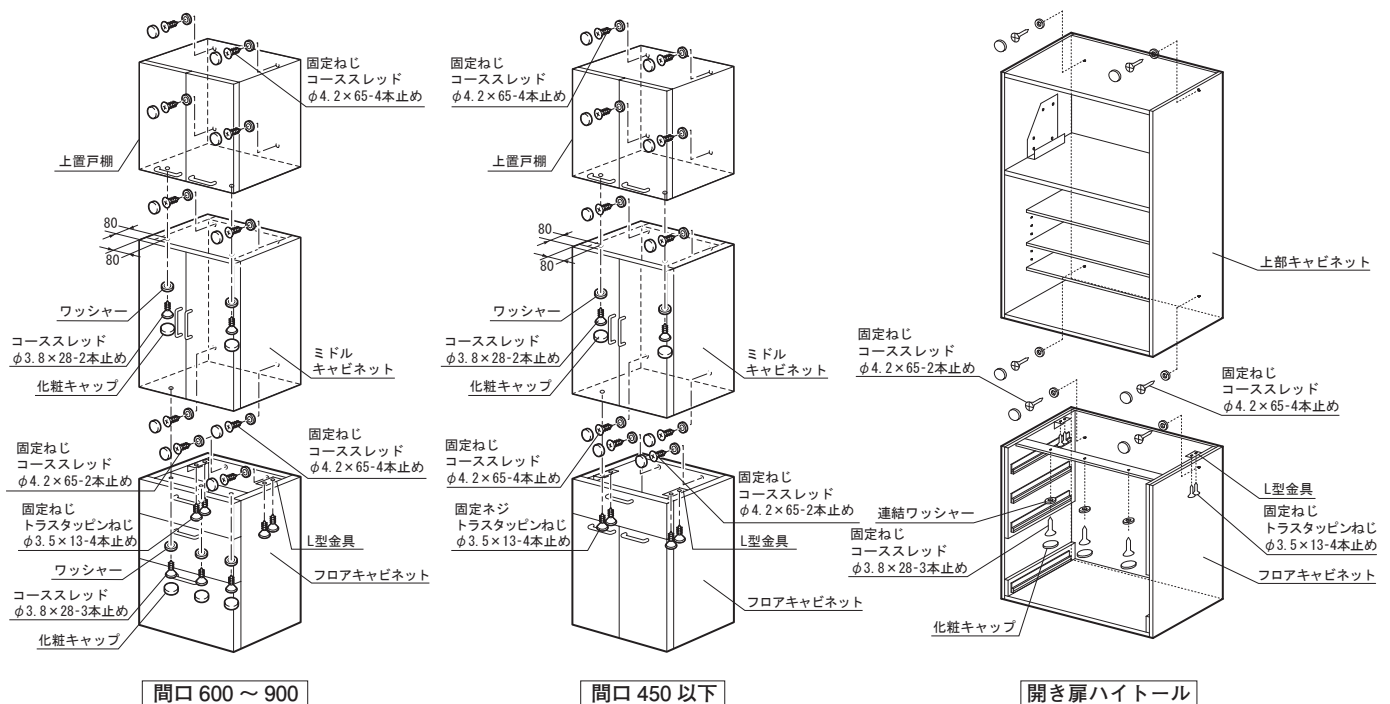
- 壁付けフリースペースフロアキャビネットの取り付けは単独での設置はしない。

必ず側面を隣の壁またはキャビネットに固定してください。



(3) トール用キャビネットの取り付け

- ① フロアキャビネットを設置後、上部にミドルキャビネットを仮置きし、前後左右の位置を調整後、フロアキャビネットの側板に取付けてあるL型金具のネジ穴よりミドルキャビネットに向かって固定ネジ（トラスタッピンねじφ3.5×13）で固定してください。更に間口600～900は固定ネジ（φ3.8×28コーススレッド）にワッシャーを通してヨコサンの下穴よりミドルキャビネットに向かって固定してください。固定後ワッシャーに化粧キャップを取付けてください。
- ② 固定ねじ（コーススレッドφ4.2×65）にワッシャーを通し、フロアキャビネット・ミドルキャビネットの背面の固定穴より壁面に確実に固定してください。固定後ワッシャーに化粧キャップを取り付けてください。
- ③ 上置戸棚を取付ける場合は、ミドルキャビネットの上部に上置戸棚を仮置きし、前後左右の位置を調整後、ミドルキャビネットの内側より上置戸棚に向かって固定ねじ（コーススレッドφ3.8×28）にワッシャーを通して固定し、最後に固定ねじ（コーススレッドφ4.2×65）にワッシャーを通し上置戸棚背面の固定用穴より壁面に確実に固定してください。固定後ワッシャーに化粧キャップを取り付けてください。
- ④ スウィングダウンウォールの取り付けはスウィングダウンウォール同梱の取扱説明書に従って取り付けしてください。



● フリースペース付家電収納トールの隣に壁またはキャビネットが隣接しない場合

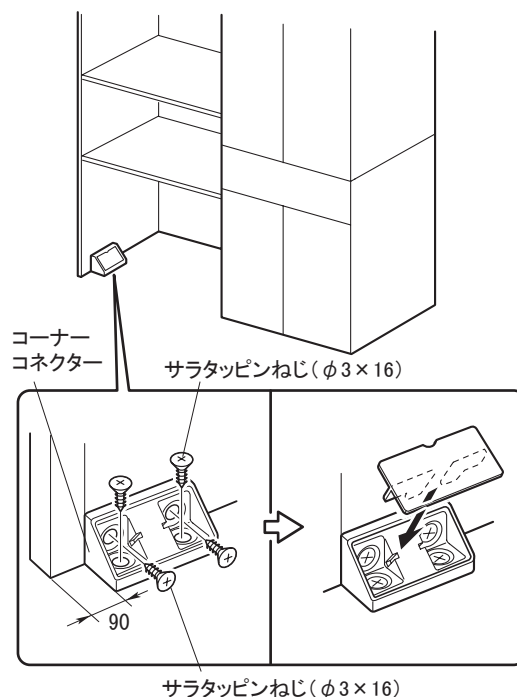
- 1) 側板内側手前（ケコミ付近）を部品袋のコーナーコネクターで固定してください。
- 2) コーナーコネクターを固定したら、付属のキャップを被せてください。

⚠ 注 意

● キャビネットを設置する床下に床暖房設備のある場合は、床暖房設備を破損しないようにキャビネットを固定する。

● トール用キャビネットの固定は製品内部から付属の取付ねじ（コーススレッドφ4.2×65）とワッシャーにより壁面に確実に固定し、化粧キャップを取り付ける。

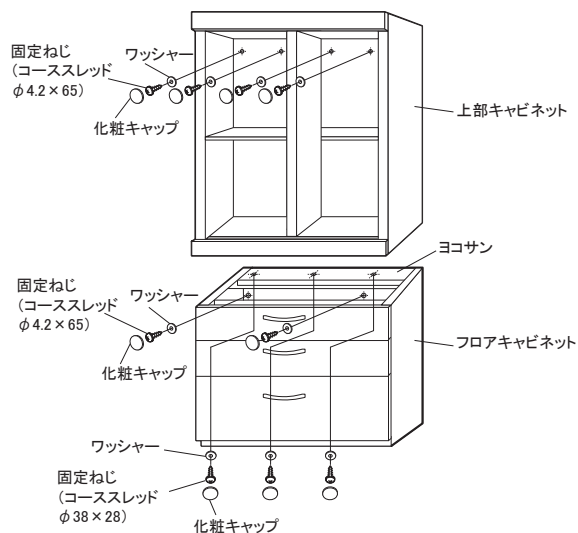
製品が倒れて、けがをするおそれがあります。



(4) 引き戸ハイトールの取り付け

● 上下キャビネットの連結と壁面固定

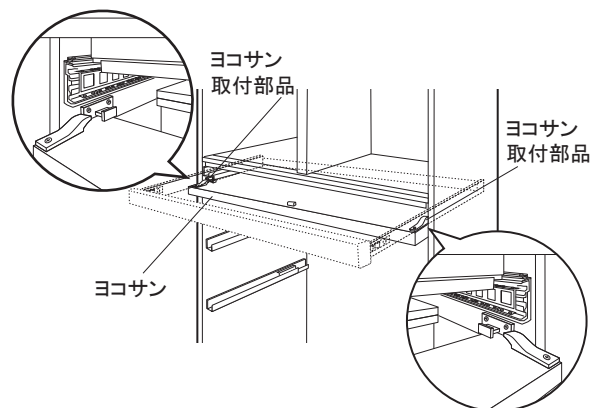
- ① フロアキャビネットの上部に上部キャビネットを仮置きし、前後左右の位置を調整後、固定ねじ（コーススレッドφ3.8×28、3カ所）にワッシャーを通して、フロアキャビネット内側奥の天板より上部キャビネットに向かって固定してください。固定後ワッシャーに化粧キャップを取り付けてください。
- ② 固定ねじ（コーススレッドφ4.2×65）にワッシャーを通して、フロアキャビネット・上部キャビネットの背面の固定穴より壁面に確実に固定してください。



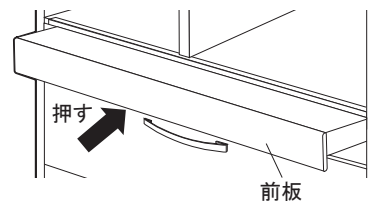
● 引き戸の取付

引き戸を取り付けるには、事前にプラスワンカウンターを取り外す必要があります。以下の要領でプラスワンカウンターを取り外し、引き戸を取り付けてください。

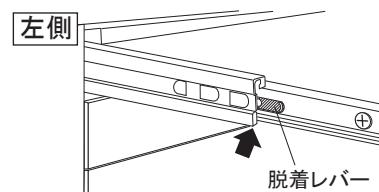
- ① 上部キャビネットのヨコサンの両サイドに取り付けてあるヨコサン取り付け部品の近くを持って平行に引っ張り、ヨコサンを取り外してください。



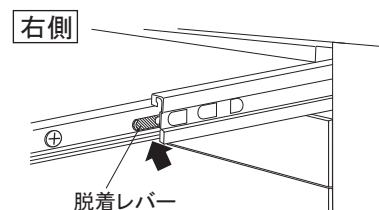
- ② プラスワンカウンターの前板中央付近を押すと、ロックが解除されプラスワンカウンターが少し出てきます。その後前板をつかんで引出してください。



③ プラスワンカウンターのレール側面にある脱着レバーを内側に左右同時に押しながらカウンターを引っ張り取り外してください。

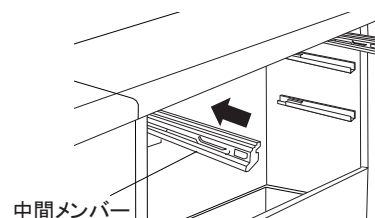


④ スライド引戸は、スライド引戸に同梱の取付・設置説明書に従って取り付けてください。

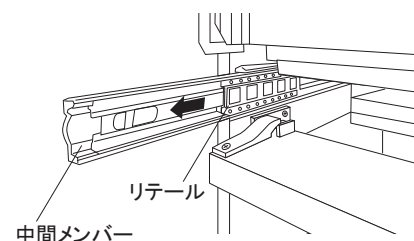


⑤ スライド引戸の前後・傾き及びクローザーの調整方法は、スライド引戸に同梱の取付・設置説明書を参照ください。

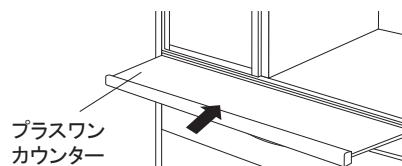
⑥ プラスワンカウンターのレールの中間メンバーを「カチッ」と止まるまで押し込んでください。



⑦ 中間メンバーに組込まれているリテールを左右とも手前までいっぱい引いてください。

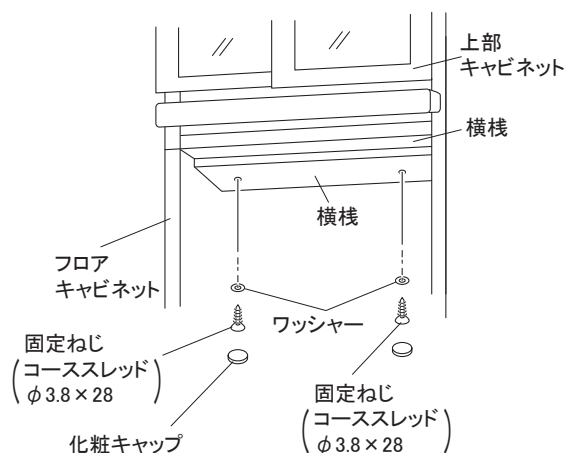


⑧ プラスワンカウンターを静かに中間メンバーに差込み、ゆっくりと奥まで押して完全に閉じてください。



⑨ ①で取外した横棧を取り付けてください。

⑩ 固定ねじ（コーススレッドφ3.8×28、2ヶ所）にワッシャーを通して、したキャビネット手前の横棧より上部キャビネットの横棧に向かって固定してください。固定後ワッシャーに化粧キャップを取り付けてください。

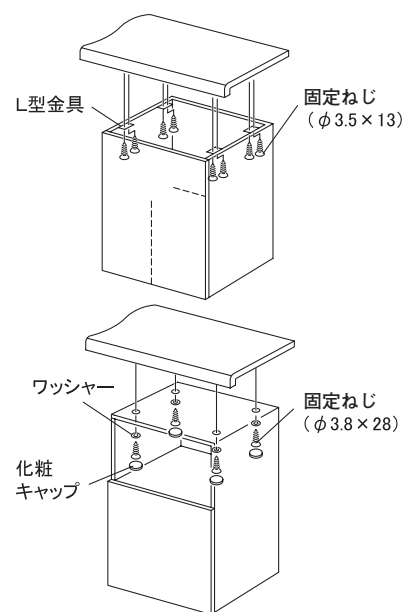


(5) エンドパネル（ツール用）の取り付け

キャビネット設置後エンドパネル（ツール用）がある場合はエンドパネル（ツール用）取付・設置説明書を参照して取り付けてください。

(6) カウンターの取り付け

- ①キャビネットにカウンターを仮置きして、前後左右の調整を行い、キャビネットの側板に取付けられたL型金具よりカウンターに向かって固定ねじ（ $\phi 3.5 \times 13$ ）で固定してください。
- ②ハイフロアコーナーキャビネット、家電収納フロアキャビネットの場合は、M4ワッシャーとカウンター固定ねじ（コーススレッド $\phi 3.8 \times 28$ ）により、キャビネット天板とカウンターを確実に固定し、ねじ頭には化粧キャップを取り付けてください。

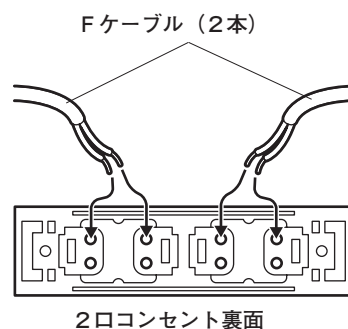
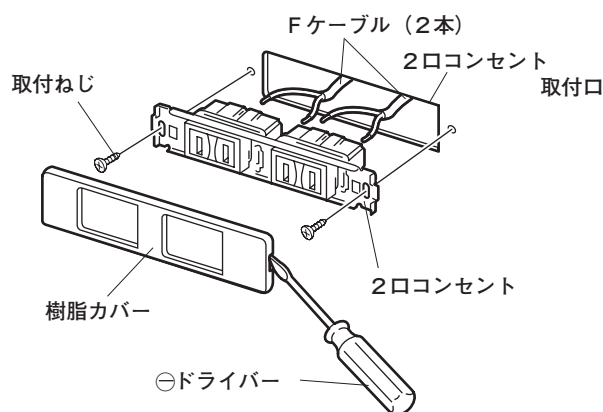


(7) 家電収納フロアキャビネットの電気配線工事

2口コンセントとFケーブルとの接続方法

事後工事

- キャビネットの背板についている2口コンセントの樹脂カバーを、左右の溝に⊖ドライバーを差し込み手前に倒して外します。
- 取付枠の左右の取付ねじを外し、2口コンセントを背板から取り外してください。
- 2口コンセント取付口よりFケーブル（2本）をキャビネット内に引き込み、2口コンセントに接続してください。
 - ・Fケーブルは芯線が $\phi 1.6$ のものをお使いください。
 - ・Fケーブルの接続コードの被覆の剥く長さを、2口コンセントに付いているストリップゲージに合わせて（13mm）、被覆を剥いてください。
 - ・Fケーブル（2本）の芯線を2口コンセントに確実に差し込みます。
- 配線工事終了後、2口コンセントを①で取り外したネジを使って、キャビネットの背板に固定し、樹脂カバーを取り付けてください。



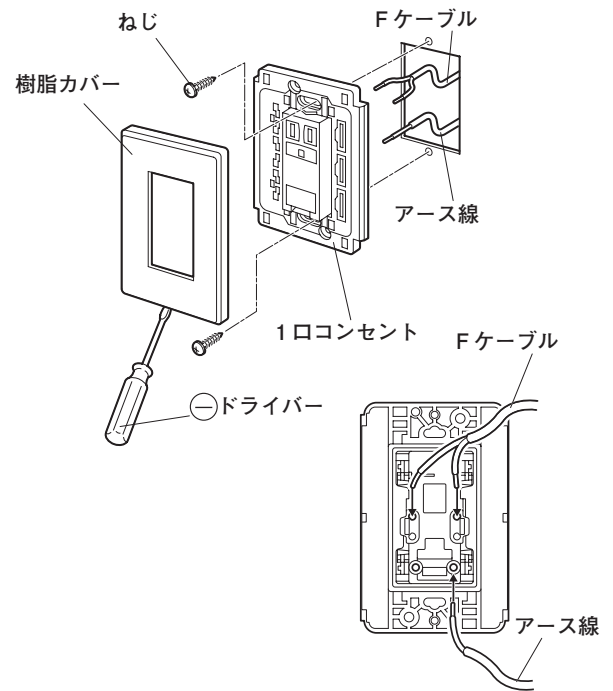
⚠ 注意

- 配線工事は関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」が行う。
- 電源は必ず定格 15A 以上のものを単独で使用する。

接続や固定が不完全な場合や、定格以下のものを使用すると発煙や火災の原因になります。



- ① キャビネットの背板についている1口コンセントの樹脂カバーを、下の溝にドライバーを差し込み手前に倒して外します。
- ② 取付枠の上下の取付ねじを外し、1口コンセントを背板から取り外してください。
- ③ 1口コンセント取付口よりFケーブル（1本）とアース線（1本）をキャビネット内に引き込み、1口コンセントに接続してください。
 - Fケーブルおよびアース線は芯線がφ1.6のものをお使いください。
 - Fケーブルおよびアース線の接続コードの被覆の剥く長さを、1口コンセントに付いているストリップゲージに合わせて（12mm）、被覆を剥いてください。
 - Fケーブルおよびアース線の芯線を1口コンセントに確実に差し込みます。
- ④ 配線工事終了後、1口コンセントを①で取り外したねじを使って、キャビネットの背板に固定し、樹脂カバーを取り付けてください。



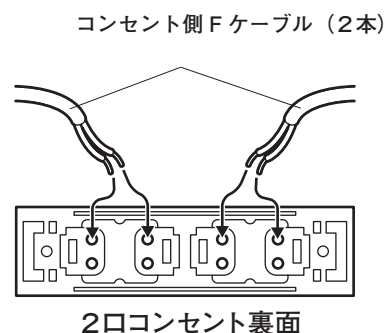
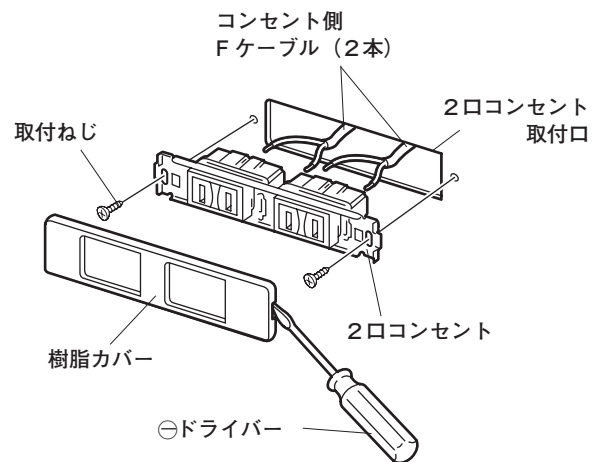
(8) 蒸気排出ユニットの取り付け

・蒸気排出ユニットに付属の取り付け・設置説明書をご確認の上、キャビネットに取り付けてください。

(9) 蒸気排出ユニット付家電品収納庫の電気配線工事

配線工事 事後工事

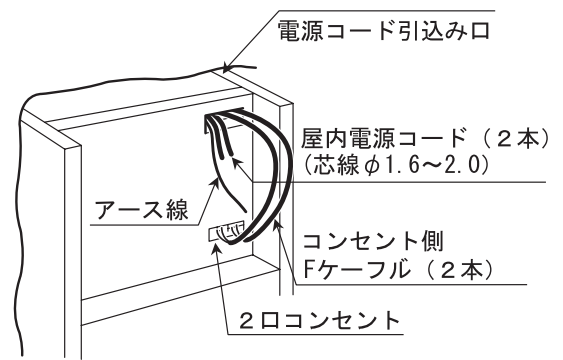
- キャビネットの背板についている2口コンセントの樹脂カバーを、左右の溝に⊖ドライバーを差し込み手前に倒して外します。
- 取付枠の左右の取付ねじを外し、2口コンセントを背板から取り外してください。
- キャビネットに同梱のコンセント側Fケーブル（2本）を2口コンセントに接続してください。
 - ・ コンセント側Fケーブルの被覆の剥く長さを、2口コンセントに付いているストリップゲージに合わせて（13mm）、被覆を剥いてください。
 - ・ コンセント側Fケーブル（2本）の芯線を2口コンセントに確実に差し込みます。
- 配線工事終了後、2口コンセントを上記で取り外したねじを使って、キャビネットの背板に固定し、樹脂カバーを取り付けてください。
- 屋内電源コード（2本）と上記で結線したコンセント側Fケーブル（2本）を家電品収納庫の電源コード引込み口からキャビネット内に引込み、蒸気排出ユニットに結線してください。
- 蒸気排出ユニットの結線方法については蒸気排出ユニットに付属の取付・設置説明書をよくお読みのうえ正しく設置してください。
- 設置終了後は蒸気排出ユニットの作動を必ず確認してください。



※コンセント及び蒸気排出ユニットに結線するためのFケーブルの被覆を剥ぐ長さが異なりますのでご注意ください。

コンセント側 : 13mm

蒸気排出ユニット側 : 15mm



⚠ 注意

- 配線工事は関連する法令、規定に従って、必ず「有資格者」が行う。
- 電源は必ず定格 15 A 以上のものを単独で使用する。
- 蒸気排出ユニットへの配線、作動確認は、蒸気排出ユニットに付属の取付・設置説明書を確認する。

接続や固定が不完全な場合や、定格以下のものを使用すると発煙や火災の原因になります。



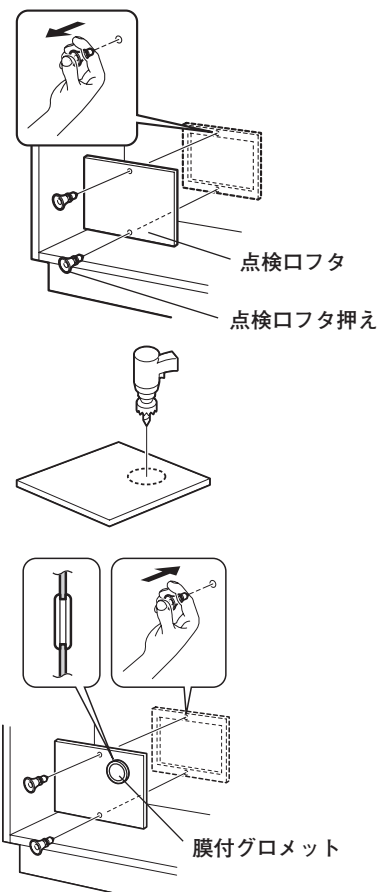
8. 機器類の設置・ガス・給排水・電気工事

- 各機器の設置は、各々の取付・設置説明書に従って設置してください。
- ガス・水道・電気工事については、各工事の「有資格者」が工事を行ってください。

(1) ガス管取出し用・電気コンロコンセント用穴開け

配管スペース付きコンロキャビネットの場合にはコンロキャビネット背面にガス管取出し用または電気コンロコンセント用穴開けを行います。

- ① コンロキャビネット背面の点検口フタを取り外します。上下部の点検口フタ押えを引き抜き、点検口フタを取り外してください。
- ② 取り外した点検口フタに穴を (φ 75) 開けます。穴開け位置はキッチン取付・設置図を参照してください。
- ③ 穴開けした部分にコンロキャビネットに同梱の膜付グロメットを取り付け元の位置に取り付け、点検口フタの取付穴とコンロキャビネット背面の取り付け穴位置をあわせて、点検口フタ押えを上下2ヶ所に押し込んで取り付けてください。取り付け後、点検口フタが外れないことを確認してください。



⚠ 注意

- どこでもパレット付きの場合は、必ずどこでもパレットが最上段に設置された状態でガス配管と干渉しないことを確認する。

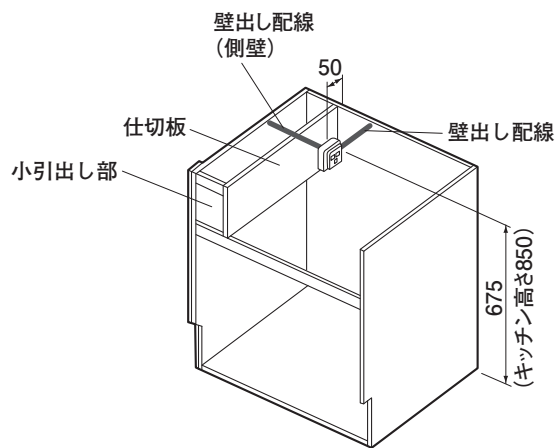
ガス漏れを起こすおそれがあります。



(2) 電気コンロ用コンセント取り付け

配管スペース無しコンロキャビネットの場合には電気コンロ用のコンセントをキャビネット内に取り付けます。

- ① キッチン取付・設置図を参照し、キャビネット内の小引出し用仕切り板の側面にコンセントを取り付けます。
- ② 電気コンロ設置後、電気コンロの電源コードがたるまないようにコンロキャビネットに付属のコーチングクリップでキャビネット内側に固定してください。



⚠ 注意

- 配管スペース無しコンロキャビネットの場合は、電気コンロ用の電源コードを必ずキャビネットに付属のコーチングクリップでキャビネット内側に固定する。



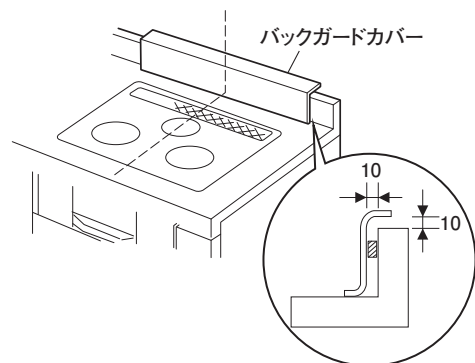
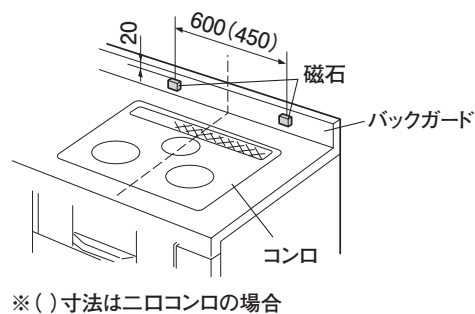
引出しやどこでもパレットの収納物が落下して、けがをするおそれがあります。

9. 部品の取り付け

(1) バックガードカバーの取り付け

奥行 60cm の人工大理石ワークトップの場合はワークトップのバックガードにバックガードカバーを取り付けてください。

- ① 右図の位置に付属の磁石を剥離紙をはがして接着してください。
(磁石を接着する前に、バックガードの汚れをよく拭き取ってください)
- ② バックガードカバーの中心をコンロの中心に合わせて取り付けてください。



⚠ 注意

- バックガードカバーは必ず取り外してください。

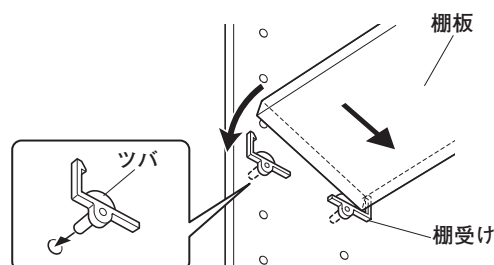
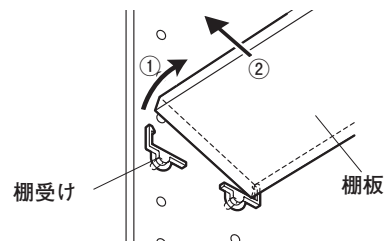
バックガード部が変色するおそれがあります。



(2) 棚板の取り付け・取り外し

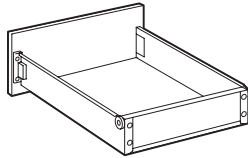
棚受け前部のツメを外してから、棚板を外してください。

棚受けにはツバがついています。棚板は棚受けが抜けないようにツバを挟み込んで固定してください。
(プルダウンラック付吊戸棚)

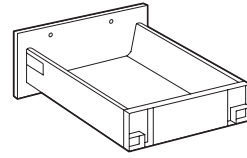


(3) 引き出しの取り付け・取り外し

引き出しのタイプ



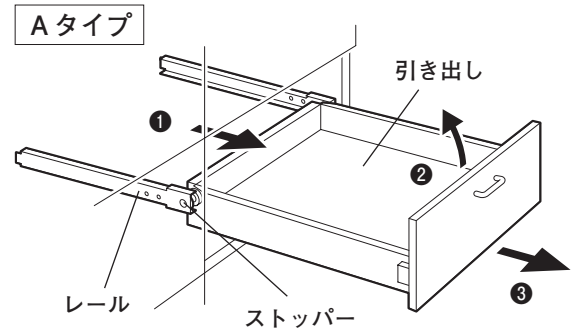
Aタイプ



Bタイプ

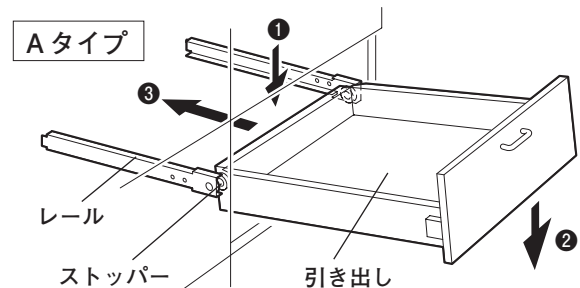
●引き出しの取り外し方法（Aタイプ）

- ①引き出しを引き出すとローラーがストッパーに当たります。
- ②ストッパーに当たりましたら、引き出しを上を持ち上げます。
- ③引き出しを手前に引き出します。



●引き出しの取り付け方法（Aタイプ）

- ①引き出しを両手で持ち、ローラーを引出しレールに差し込みます。
ななめ上から落とし込むようにするとうまく入ります。
- ②ストッパーが引き出しレール側のローラーを乗り越えたら、引き出しを水平にします。
- ③水平に押し込みます。



⚠ 注 意

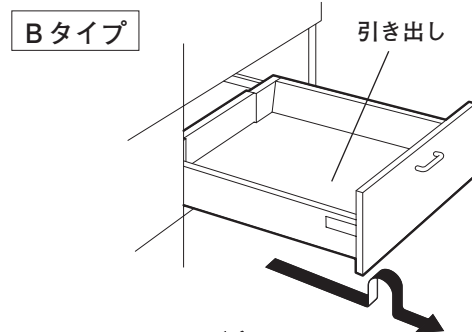
- 取り外す際には引き出し内の収納物をすべて出し、必ず引き出しに両手を添えて取り外す。

引き出しや収納物が落下して、けがをするおそれがあります。



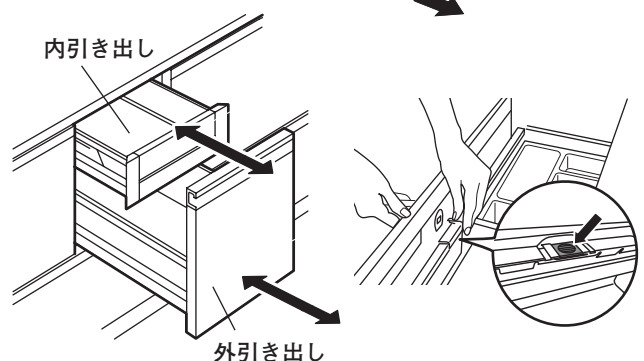
●引き出しの取り外し方法（Bタイプ）

- ①引き出しをいっぱいまで引いてください。
- ②少し上に持ち上げて引いて取り外してください。



内引き出し連動調理キャビネットの場合

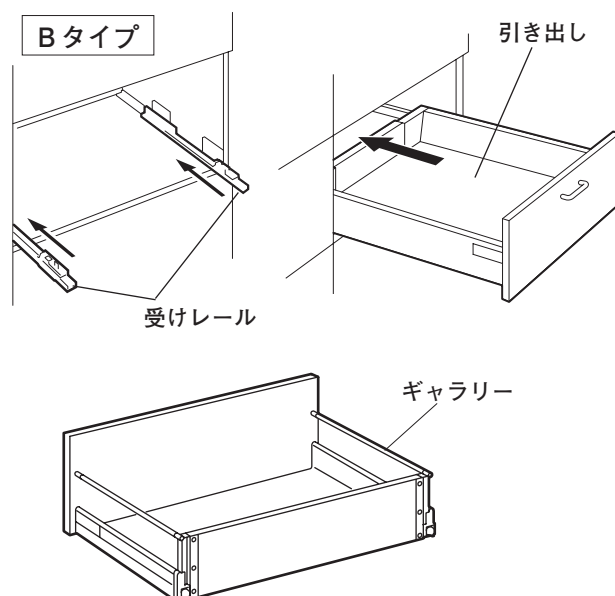
- ①引き出しをいっぱいまで引いてください。
- ②内引き出しが連動して引き出される為、扉手掛け側の黒いボタンを押し、内引き出しをゆっくりと後方へスライドさせてください。
- ③下段の引き出しを少し上に持ち上げて引いて取り外してください。
- ④内引き出しを同様に取り外してください。



●引き出しの取り付け方法（Bタイプ）

- ① 受けレールを奥まで入れてください。
- ② 引き出しを受けレールに乗せてください。
- ③ カチャと音がするまで引き出しを押し込んでください。

調理キャビネットの場合は、内引き出しから同様に取り付けてください。



⚠ 注 意

● ギャラリーを持たない。

ギャラリーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。



● 引き出し底板の上に工具類を置かない。

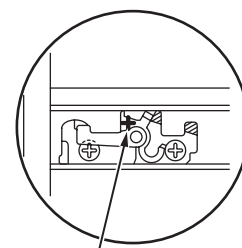
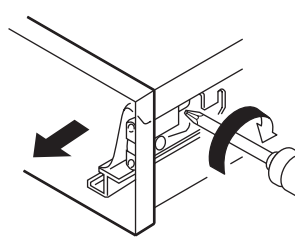
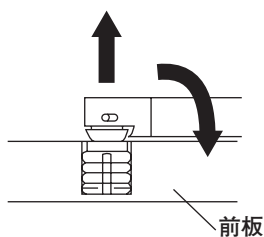
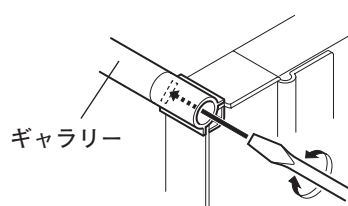
引き出し底板（ステンレス底板）に傷がつくおそれがあります。



●引き出し前板の取り外しと取り付け方法（Bタイプ）

① 引き出し前板の取り外し方

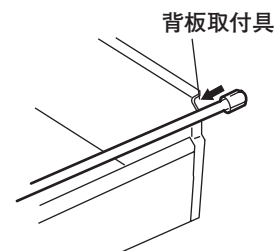
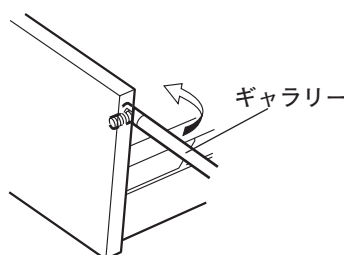
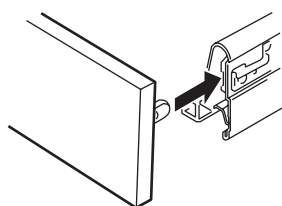
- ・ ギャラリーの背板側にマイナスドライバーを差込み、回して取り外してください。
- ・ 前板はギャラリーを倒して、ダボを抜いてください。
- ・ 前板取り外しネジ穴へプラスドライバーを差込み、矢印の方向に回して引き出しを取り外してください。



前板取り外しネジ穴

② 引き出し前板の取り付け方

- ・ 前板取付金具を引出し側部に押し込んでください。
- ・ ギャラリー先端ダボを前板下穴に入れて、ギャラリーを起こしてください。
- ・ 背板取付具にギャラリーを押し当て、取り付けてください。



引き出しを取り付けたら数回開閉操作を行ない引き出しが確実に取り付けであることを確認してください。

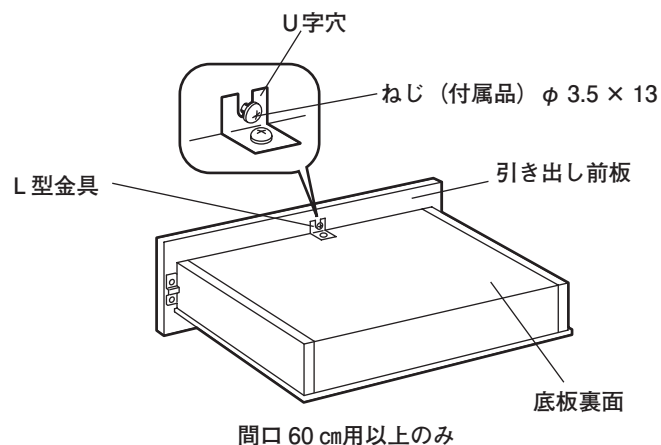
(4) 引き出し前板と引き出しの固定

引き出し前板の調整後に引き出し底板に取り付けてあるL型金具を付属ネジにて引き出し前板に固定します。

⚠ 注意

● 必ず固定する。

引き出し底板が反って引き出しが開閉しなくなる場合があります。



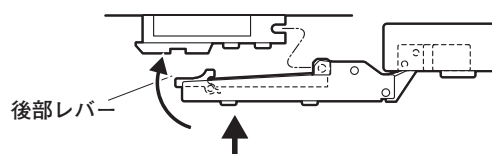
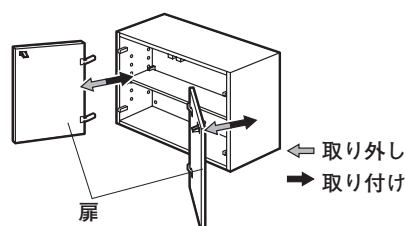
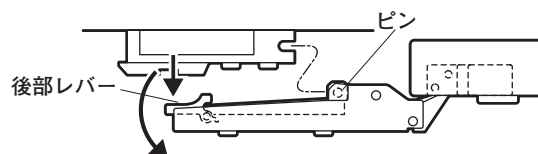
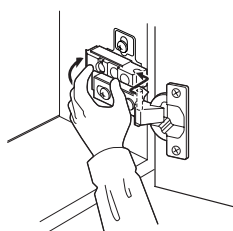
(5) 扉・丁番・ダンパーの取り外し・取り付け方法

① 扉の取り外し方法

丁番の後部レバーを引くようにし、扉を外してください。

② 扉の取り付け方法

作業終了後、扉を取り付けてください。
丁番前のピンを引掛けるようにし、丁番の後部レバーをカチッと音がするまではめ込んでください。



- 右図のようなダンパーは取り付け・取り外しができません。扉の調整をする場合はダンパーを外してから扉の調整を行ってください。

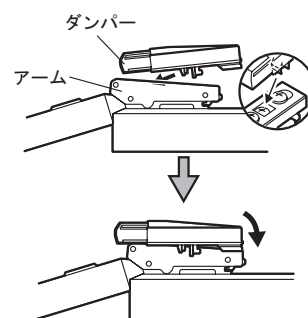
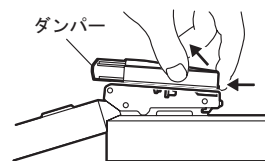
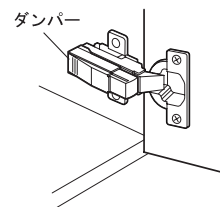
① ダンパーの取り外し方法

ダンパー先端部を上を持ち上げながら手前に引く。

② ダンパーの取り付け方法

ダンパー下部の爪をアームの長方形の穴に当て、手前側（扉側）に少し押す。上から少し押し、カチッと音がするまで押し込んでください。簡単に外れたりしないことを確認してください。

各部の名称



⚠ 注意

● ダンパーの取り外し、取り付けを行う時は必ず保護手袋を使用する。

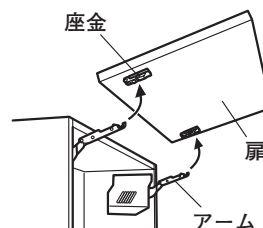
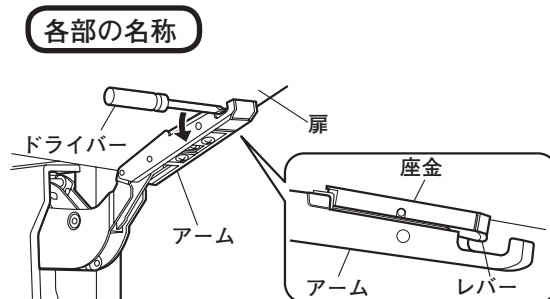
けがをするおそれがあります。



(6) フラップ吊戸棚の扉取り外し・取り付け方法

① 扉の取り外し方法

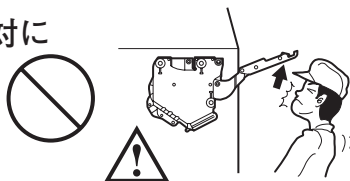
ドライバー等をアーム先端に差し込み、レバーを押し下げて扉を座金から外してください。



⚠ 注意

- 扉を外した状態では、絶対にアームを押し下げない。

アームが跳ね上がってけがをするおそれがあります。



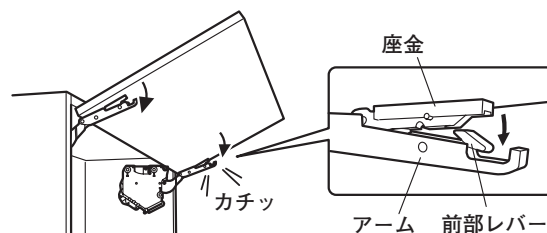
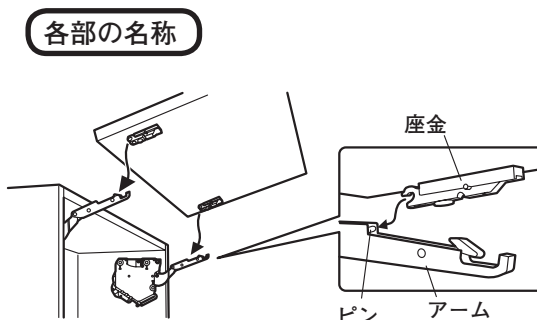
- 扉を片手で押えて外す。

扉が落下してけがをするおそれがあります。



② 扉の取り付け方法

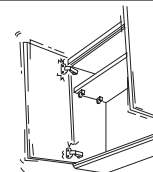
作業終了後、吊戸棚の扉を取り付けてください。
丁番後部のピンを引掛けるようにし、丁番の前部レバーをカチッと音がするまではめ込んでください。



⚠ 注意

- 取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。

扉が落下して、けがをするおそれがあります。



取り付け後に開閉操作を行ない丁番が確実に取り付けられているか確認してください。

(7) アレンジスライド (*4) の取り付け・取り外し

アレンジスライドの取り付け位置を変えるには

アレンジスライドの取り付け位置を変える際は、以下の要領で行ってください。製品によっては高さのみしか変えられない機種もあります。

※(*4)シリーズにより名称が変わります。
マルーレ・PK…アレンジスライド
カナリエ・LE…どこでもパレット
本説明書はアレンジスライドで記載しています。

● アレンジスライドの取り外し方法 (図-1)

- ① アレンジスライド手前を上方向に持ち上げて、前方の溝を棚受けから外してください。
- ② アレンジスライドを手前斜め上方へ持ち上げて後方の溝を棚受けから外してください。
- ③ アレンジスライドを手前方向へ引き抜き、取り外します。

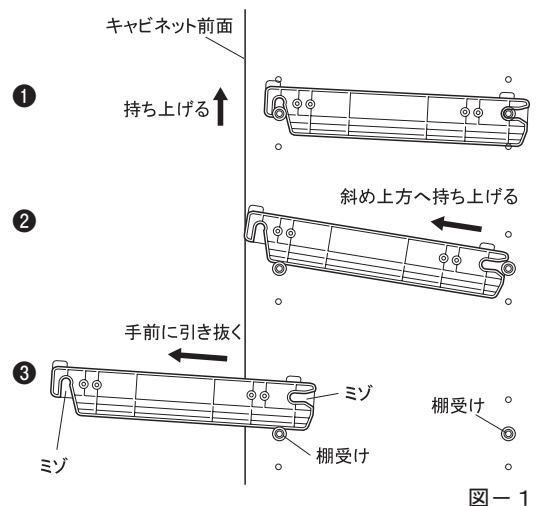


図-1

● アレンジスライドの取り外し方法・コンロ／調理台キャビネット最上段の場合 (図-2)

- ① アレンジスライド手前を上方向に持ち上げて、前方の溝を棚受けから外してください。
- ② アレンジスライド手前を上方向へ持ち上げた状態で手前の棚受けを棚受け穴から取り外してください。
- ③ アレンジスライドを手前方向へ引き抜き、取り外します。

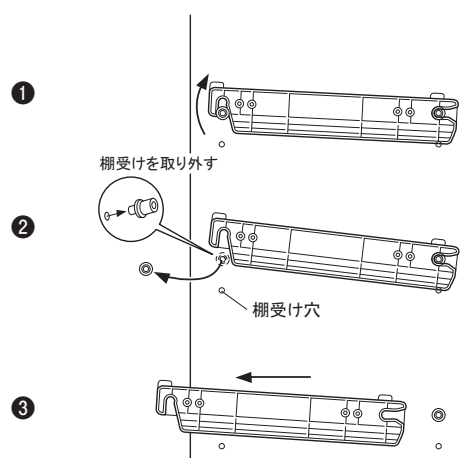


図-2

⚠ 注意

- アレンジスライドの高さを変える際には、パレット収納部の引き出しを外し、パレット上の収納物をすべて降ろしてから行うこと。

引き出し部に手をぶついたり、収納物が落下してけがをするおそれがあります。



- アレンジスライドを外す際には、図-3のように手前側から両手で、スライド部とキャビネット設置部両側に手が掛かるように持つこと。

パレットがスライドしてぶつかったり、手をはさんでけがをするおそれがあります。
各部の名称④0ページを参照

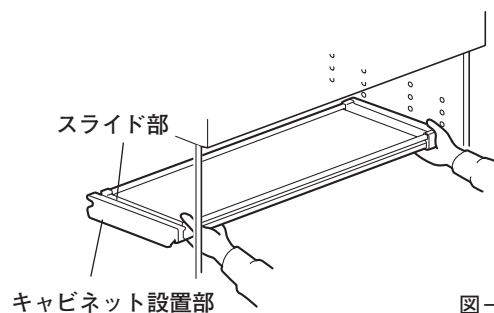


図-3

● アレンジスライドの設置方法 (図-4)

- ① 前方の棚受けにアレンジスライド後方部を乗せ、キャビネット後方に滑らせてください。
- ② アレンジスライド後方の溝に棚受けを挿入し、カチッという感覚があるまで軽く押し込んでください。
- ③ アレンジスライド前方の溝に棚受けをカチッという感覚があるまで軽く押し下げてください。

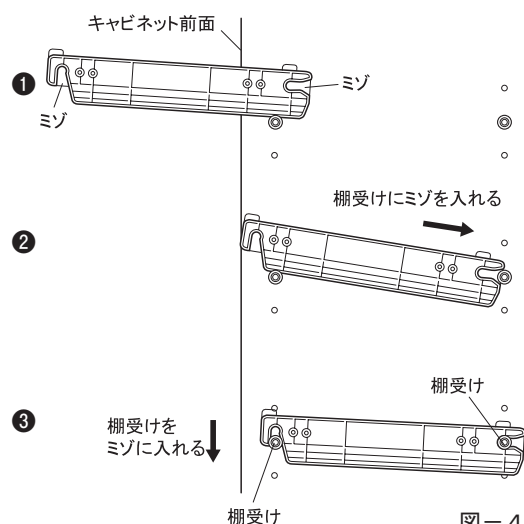
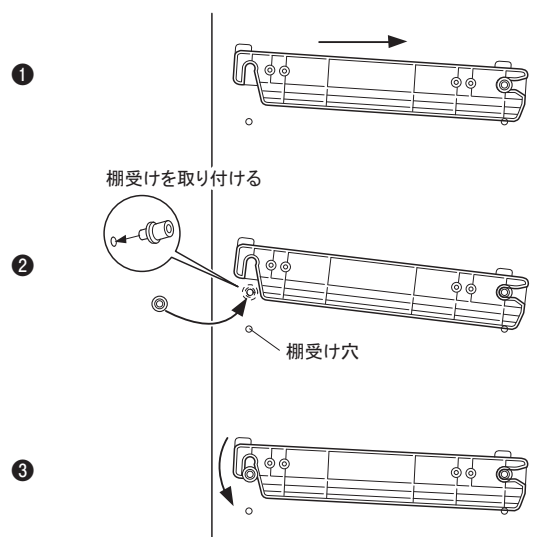


図-4

●アレンジスライド設置方法・コンロ／調理台キャビネット最上段の場合（図－５）

- ①前方の棚受けを棚受け穴から取り外してください。後方の棚受けをアレンジスライド後方の溝に挿入し、カチッという感覚があるまで軽く押し込んでください。
- ②アレンジスライド手前を上方向に持ち上げて①で外した棚受けをキャビネットの棚受け穴に取り付けてください。
- ③アレンジスライド前方をカチッという感覚があるまで軽く押し下げてください。



図－５

⚠ 注 意

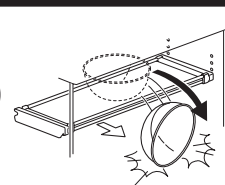
- アレンジスライドがガス配管（ガス栓含む）に干渉してしまう場合はアレンジスライドをガス管にあたらない位置に取り付ける。

ガス漏れを起こすおそれがあります。



- アレンジスライドを出し入れする際は、ゆっくり行う。

載せているものが落ち、けがをするおそれがあります。



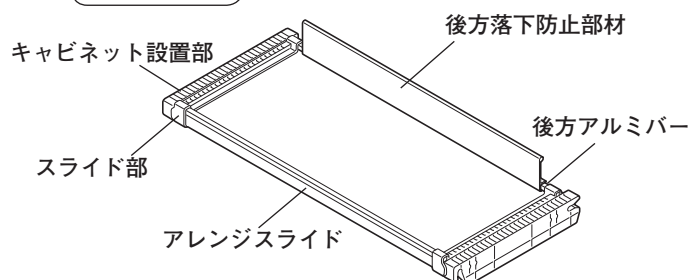
- アレンジスライドに、10kg以上の物を載せない。
アレンジスライドに、乗ったり、もたれかかったりしない。

けがのおそれがあります。



アレンジスライド後方落下防止部材について

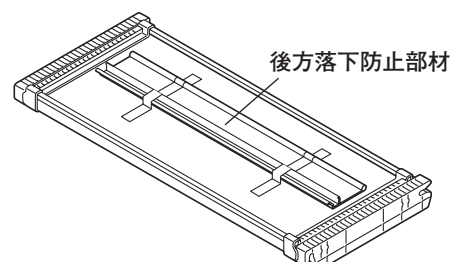
各部の名称



- 調理台用・シンク用キャビネットに付属のアレンジスライドには後方落下防止部材が同梱されています。

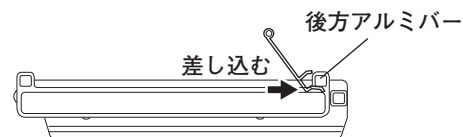
（注）一部のシンク用キャビネットには、後方落下防止部材が同梱されていません。

納品時は右図のようにパレット上面にテープ止めしてあります。テープを剥がし、以下の手順で取り付けてください。

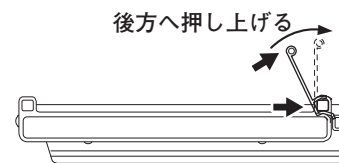


落下防止部材の取り付け方

- ① アレンジスライド前方から、落下防止部材の下端部をパレット上面と後方アルミバーの間に差し込んでください。



- ② 落下防止部材の根本をしっかりとアルミバーに押し当てながら、アルミバーを軸として回転させるようにして上端部をアレンジスライド後方へ向かって押し上げて落下防止部材を固定してください。



お願い

- アレンジスライドを最上段に設置する場合は、後方落下防止部材は取り付けないでください。



シンク配管及び上段引出しに干渉し、部品破損や水漏れのおそれがあります。

配管避けプレートについて

- コンロ用・シンク用キャビネットに付属のどこでもパレットには配管避けプレートが同梱されていますので、下記の方法にて取り付けてください。

(注) 一部のシンク用キャビネットには、配管避けプレートが同梱されていません。

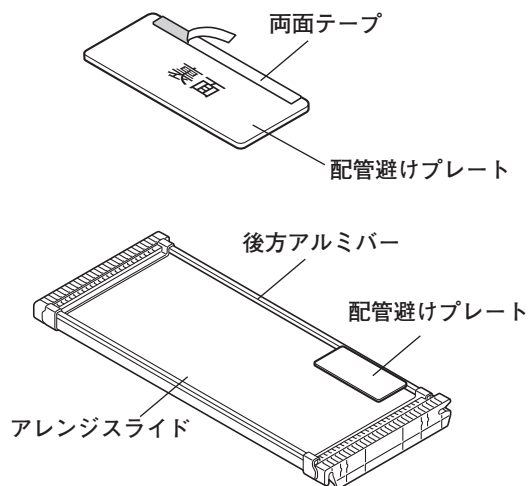
※ プレートの取り付けは、配管工事完了後に行ってください。

● コンロ用キャビネットの場合

- ① 配管避けプレート裏面についている両面テープの剥離紙を剥がしてください。
- ② ガス栓の位置に合わせて、配管避けプレートをアレンジスライドの後方のアルミバーに両面テープで貼りつけてください。

● シンク用キャビネットの場合

- ① 配管避けプレート裏面についている両面テープの剥離紙を剥がしてください。
- ② 排水ストレーナーの位置に合わせて、配管避けプレートをアレンジスライドの後方のアルミバーに両面テープで貼りつけてください。



⚠ 注意

- ガス配管や排水管の位置に合わせて必ず配管を避けプレートをアレンジスライドに貼りつける。

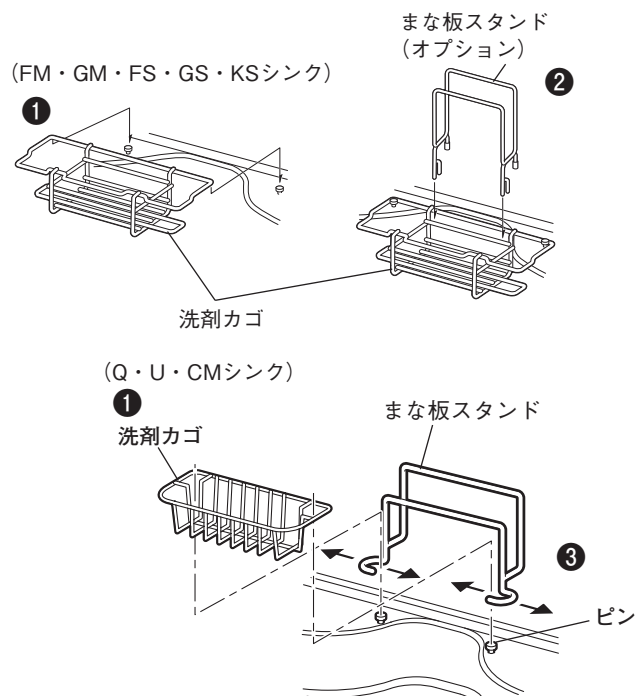
ガス配管や排水管に収納物が引っかかり、配管が破損しガス漏れや水漏れするおそれがあります。



(8) 洗剤カゴ、まな板スタンドの取り付け

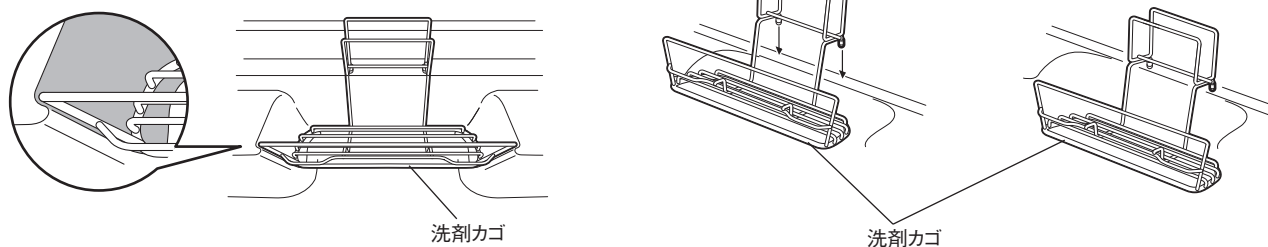
ステンレスシンクの場合

- ① 洗剤カゴの取り付け
シンク後部に取り付けてあるピンに洗剤カゴを上より引掛けます。
- ② まな板スタンドの取り付け (オプション)
まな板スタンドをシンク後部に差し込みます。
(FM・GM・FS・GS・KSシンク)
- ③ まな板スタンドの取り付け (オプション)
まな板スタンドのフックをシンク後部に取り付けてあるピンに固定します。
(Q・U・CMシンク)



人工大理石シンク(マルチナシンク・マルチナシンクコート)の場合

シンク後部に設けてある収納スペースに洗剤カゴを上より落とし込みます。



(9) 楽すてポケット(楽すてハンガー)の取り付け(FM・GM・FS・GS・KSシンク用オプション)

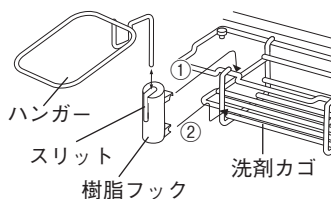
お願い

- 樹脂フックのスリットの途中でハンガーを回転させないでください。



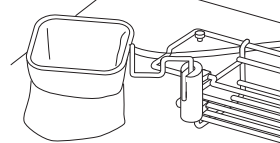
樹脂フックに傷が付きます。

各部の名称

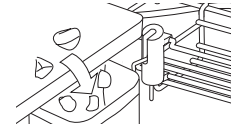


①→②の順番に取り付けてください。
(取り外しは②→①)

●上段設置時



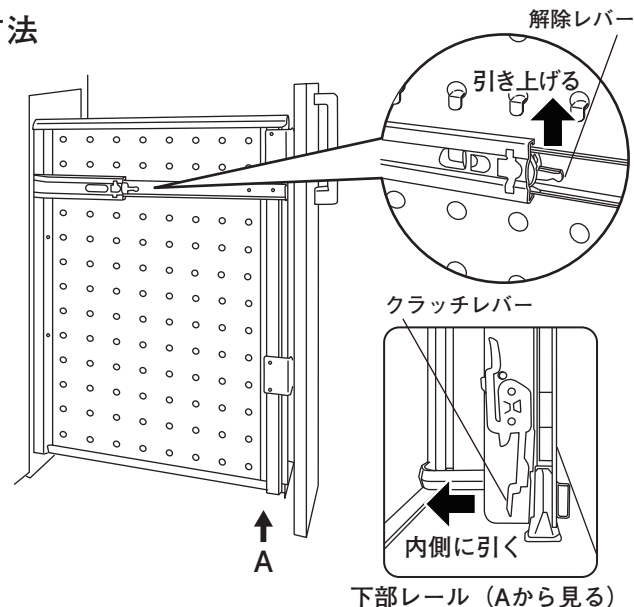
●下段設置時



(10) スライドマグネットラックの取り外し・取り付け方法

●スライドマグネットラックの取り外し方法

- ① スライドラックを手前に引き出してください。
- ② 本体裏側にある上部レールの解除レバーを引き上げながら、ラック本体の下側にあるクラッチレバーを内側に引くとロックが外れます。



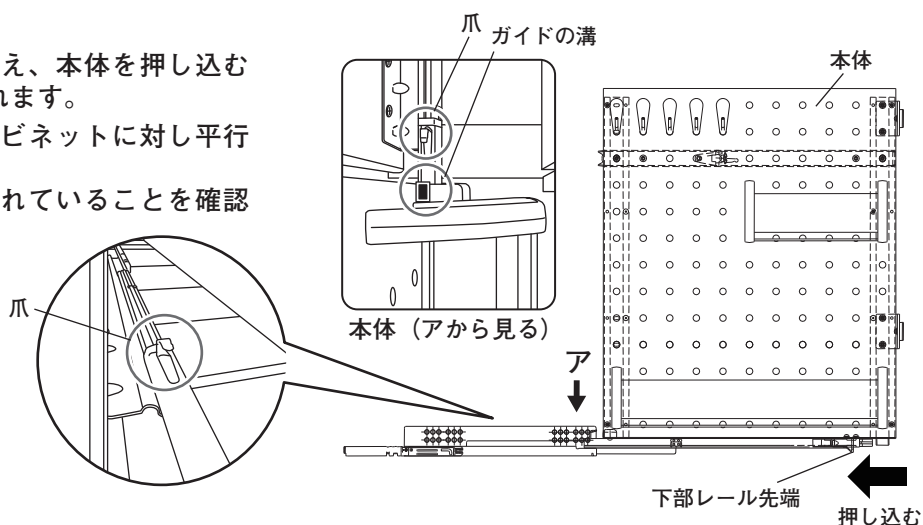
●スライドマグネットラックの取り付け方法

- ① 下部レールを引き出し、ラック本体を乗せ後部爪部分と本体のガイドの溝部分を合わせます。

- ② 下部レールの先端を指でおさえ、本体を押し込むとクラッチでレールに連結されます。

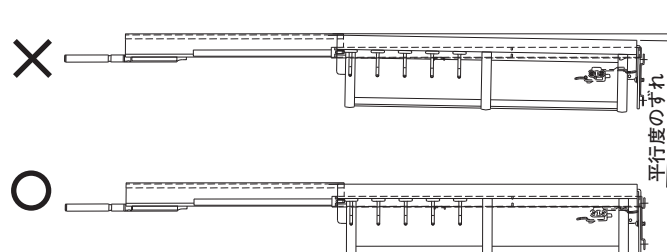
※ 本体を取り付ける際はキャビネットに対し平行な状態で取り付けます。

※ クラッチがレールに連結されていることを確認してください。



<下部レールに本体を取り付ける際の注意事項>

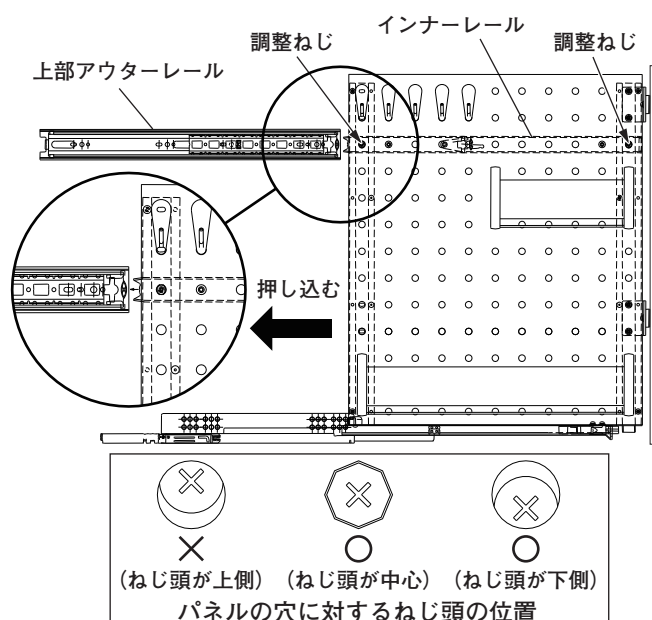
本体はキャビネットに対して平行に入れてください。斜めに入れるとクラッチがはまらず本体が落下しけがをするおそれがあります。



- ③ 下部レールと本体が連結された後、本体を手で支えたままキャビネット側に取り付けられた上部アウターレールと、本体に取り付けられたインナーレールの位置を合わせキャビネットに押し込みます。

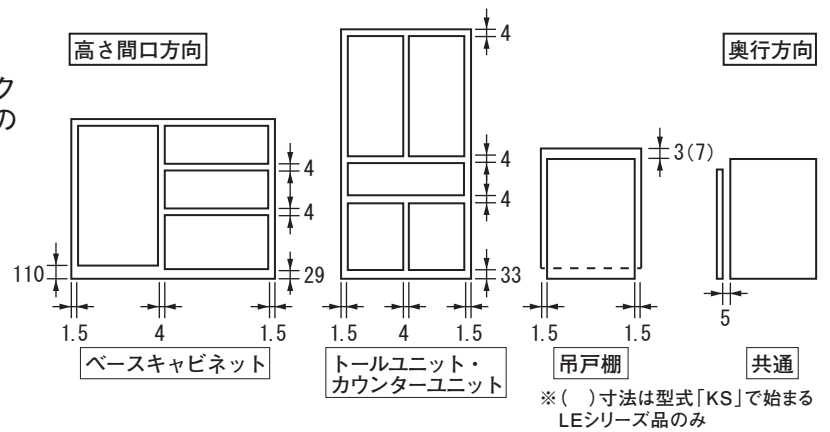
※ アウターレールとインナーレールの位置が合わない又は開閉が固い場合は、パネル前後の調整ねじを半回転ほどゆるめ本体を上下に調整してください。

パネルの穴に対してねじ頭の中心が必ず中心又は、下側になるよう調整してください。ねじ頭が上側の場合は本体の下がり過ぎにより下部レールに負荷が掛かり動きに支障が出る場合があります。(調整ねじはゆるめ過ぎると、脱落しますので注意してください。)



10. 調整

扉の基準目地寸法は図となります。ロック機構が正常に作動しない恐れがありますので扉は正しく調整してください。



(1) 扉の調整方法

- ①ダンパー付きの場合は、ダンパーを外してから扉の調整を行ってください。
(37ページ「①ダンパーの取り外し方法」)

- ②左右傾きの調整をする場合(図-1) 左右調整ねじを回すだけで調整が行えます。左右調整ねじを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向に動きます。ヒンジの左右調整ねじの高さに注意してください。左右調整ねじを右へ回しすぎるとねじが突き出てダンパーが取り付けられなかったり、付けても外れやすくなります。
※調整は必ず±2mmまでとしてください。

- ③上下の調整をする場合(図-2) 上下調整ねじをゆるめます。扉を上下に動かし扉の調整をします。調整後はねじをしっかりと締めつけてください。
(丁番座金形状が十字形状の場合は、2ヶ所の上下調整ねじをゆるめて扉を調整してください。)

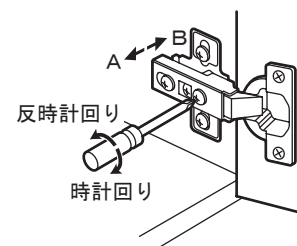
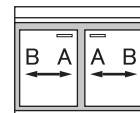
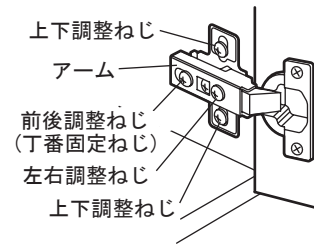
- ④前後の調整をする場合(図-3) 前後調整ねじをゆるめます。アームを前後に動かし扉の調整をします。調整後はねじをしっかりと締めつけてください。

- ⑤ダンパー付きの場合は、ダンパーを取り付けてください。
(37ページ「②ダンパーの取り付け方法」)

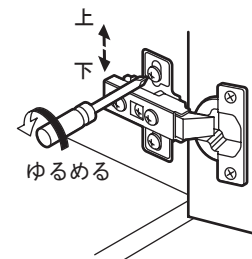
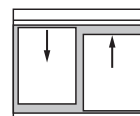
- ⑤丁番が3個以上取り付いている扉は、上下以外の丁番の上下・前後調整ネジをゆるめて、上・下丁番で調整後、全部の丁番の調整ねじを締め付けてください。

各部の名称

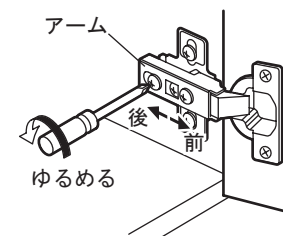
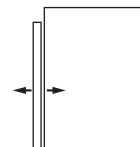
丁番座金形状：
十字形状



(図-1)



(図-2)



(図-3)

⚠ 注意

- 取付・設置完了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する。
扉が落下して、けがをするおそれがあります。



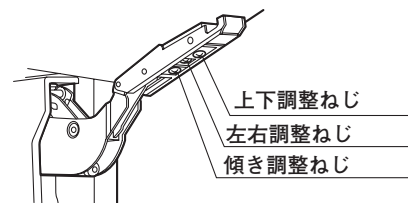
(2) フラップ吊戸棚の扉調整方法

① 扉の調整方法

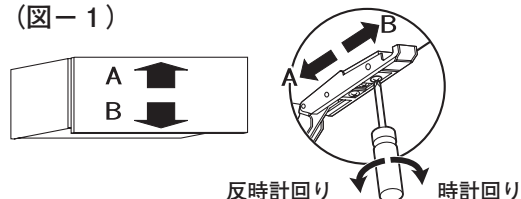
● 上下の調整をする場合 (図-1)

プラスドライバーを使って上下調整ねじを時計回りに回すと扉がA方向に動き、反時計回りに回すと扉がB方向に動きます。

各部の名称



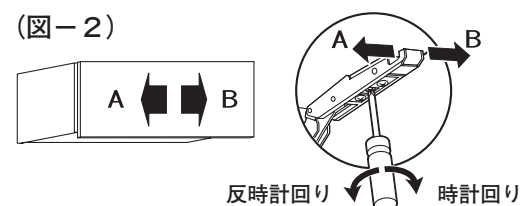
(図-1)



● 左右の調整をする場合 (図-2)

プラスドライバーを使って左右調整ねじを時計回りに回すと扉がA方向に動き、反時計回りに回すと扉がB方向に動きます。(左右両方同じ調整量で調整する。) 上下調整ねじを左 (反時計回り) に回しすぎると、左右調整ねじにドライバーが差し込めなくなりますのでご注意ください。

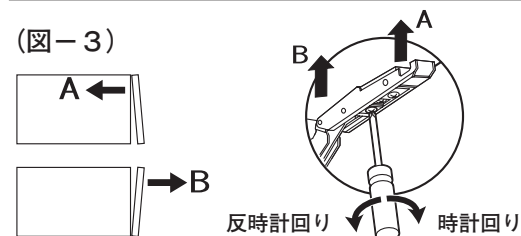
(図-2)



● 傾き調整をする場合 (図-3)

プラスドライバーを使って傾き調整ねじを時計回りに回すと扉がA方向に傾き、反時計回りに回すと扉がB方向に傾きます。

(図-3)

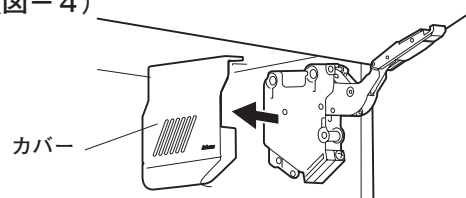


② 扉開閉具合の調整方法

本品は、工場出荷時に調整した状態で出荷してますが扉を約90°に開いて、扉が自然に上がったたり下がったりする場合には、扉開閉機構部を調整してください。

● カバーを取り外してください。(図-4)

(図-4)



● 扉が自然に下がる場合は、調整ねじを時計回りに回してください。(図-5)

プレートが+方向へ動き、ばねが強くなります。

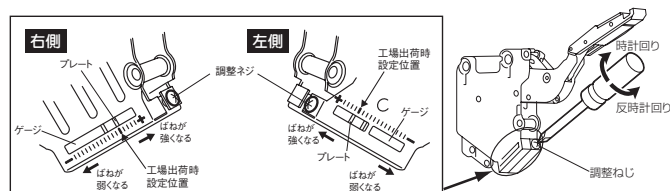
● 扉が自然に上がる場合は、調整ねじを反時計回りに回してください。

プレートが-方向へ動き、ばねが弱くなります。

※ 左右で調整量が異なると、扉とキャビネットの隙間が左右で不均一になります。

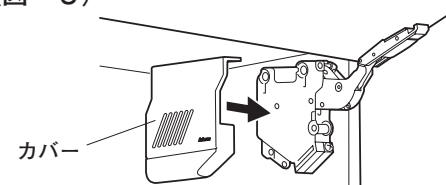
ゲージ内のプレート位置を確認しながら左右の調整量を合わせ下さい。

(図-5)



● カバーを取り付けてください。(図-6)

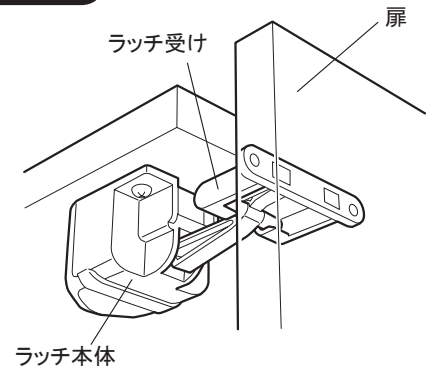
(図-6)



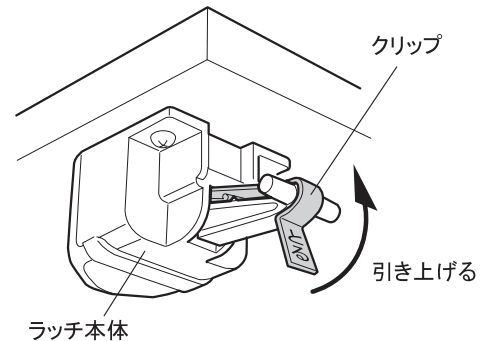
(3) ロック機構について

- 製品出荷時には、輸送及び取り付け中のロック防止の為、ラッチ本体に黒色のクリップが取り付けられています。壁面取り付け後に下記の方法にてクリップを取り外してください。
- 吊戸棚が壁面及び床面に対して水平・垂直になっていることを確認してください。水平・垂直に取り付いていないとロック機構が作動し、扉が開かなくなります。
(ラッチ本体が、左右で1.6°、前後で2°以上傾くとロック機構が働きます。)
- クリップの取り外し方法

各部の名称



キャビネットを壁面取り付け後、クリップ下部のツマミを持ち、手前上方に引き上げるようにして取り外してください。



⚠ 注 意

- クリップを必ず取り外す。

取り外さないとロック機構が作動しません。



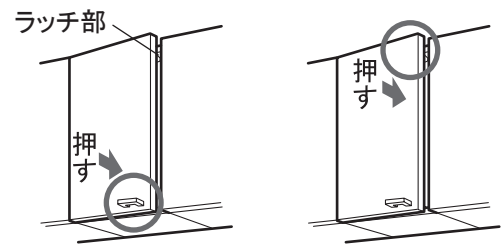
ロック機構の解除方法

ロックが作動し扉が開閉できなくなった場合は、「カチッ」と音がするまで扉の下部または扉の上部を強く押して下さい。

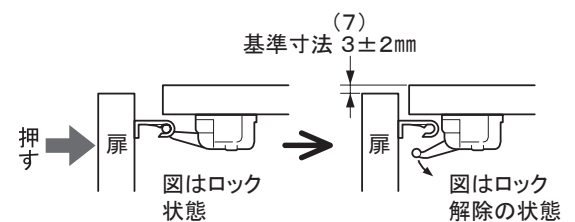
(図 - 1)

※ 解除されない場合は、扉の下にタオルを当て、持ち上げるようにして扉の上部を押し込んでください。

- 地震で躯体（壁や床など）にゆがみが生じている場合は、正常に解除できないおそれがあります。
- 一度解除しても、また開かなくなる場合は、キャビネットが傾いている可能性があります。
設置店へ連絡してキャビネットの水平・垂直を出してください。



(図 - 1)



※ () 寸法は型式「KS」で始まるLEシリーズ品のみ

⚠ 注 意

- ラッチ本体を外したり、分解しない。

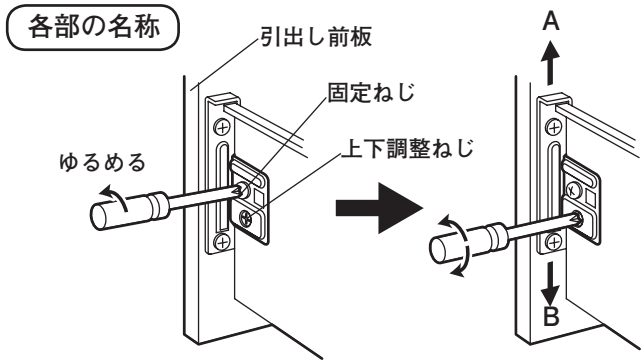
ロック機構が働かなくなったり、扉が開かなくなってしまうことがあります。



(4) 引出し前板の調整方法（Aタイプ）

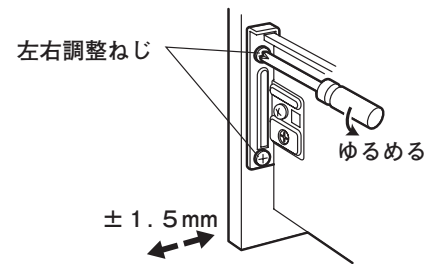
上下調整をする場合

- ❶ 固定ねじをゆるめます。
 - ❷ 上下調整ねじを時計回りに回すと引出し前板がB方向に動き、反時計回りに回すと引出し前板がA方向に動きます。
 - ❸ 調整後は固定ねじをしっかりと締め付けてください。
- ※ 上下調整ねじは左右両方の引出しレールについています。



左右調整をする場合

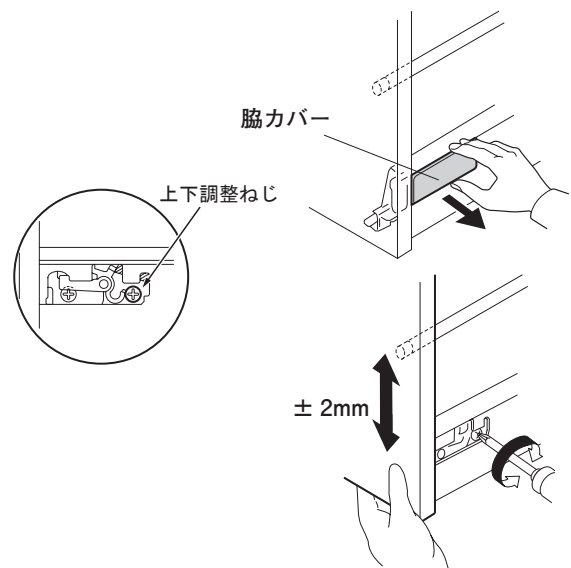
- ❶ 左右両方の左右調整ねじをゆるめ、前板左右に調整してください。
- ❷ 調整後は、左右調整ねじをしっかりと締め付けてください。



(5) 引出し前板の調整方法（Bタイプ）

❶ 上下調整をする場合

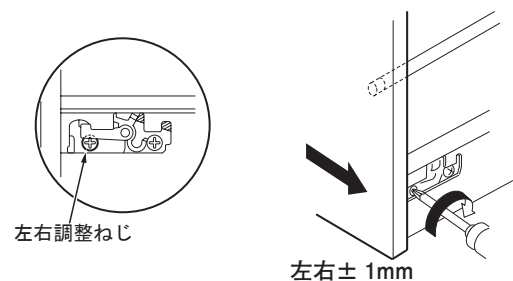
- 1) 脇力バーを取り外してください。外す際は図のように、脇力バーの上下をつまんで矢印の方向に引っばって外してください。
 - 2) プラスドライバーで上下調整ねじを回すだけで上下調整できます。
- ※ 上下調整ねじは一方方向に回し続けると上下動（±2mm）をくり返します。



❷ 左右調整をする場合

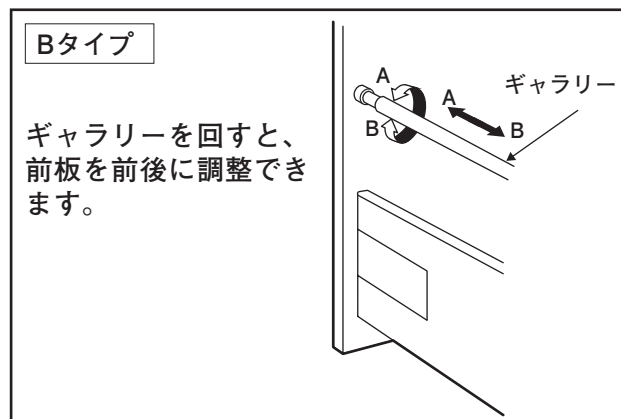
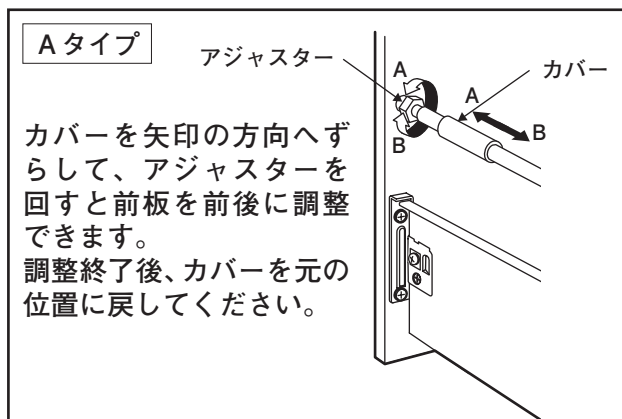
- 1) 左右調整ねじを回して、前板を左右に調整してください。
- 2) 必ず左右両側の調整を行ってください。
- 3) 調整後は、脇力バーを取り付けてください。

※ 回しすぎるとねじ（樹脂部材）が痛みますので注意してください。



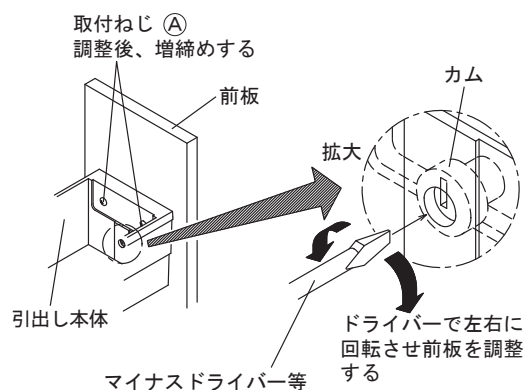
(6) ギャラリー付引出し前板の調整方法

前後調整をする場合



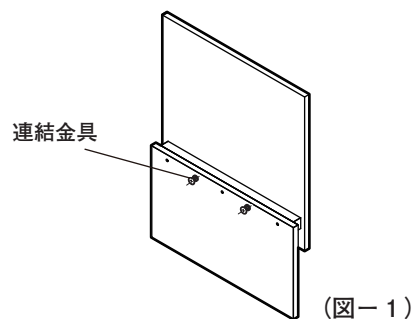
(7) コンロ脇小引出し前板の調整方法

- ① 前板を片手で押さえながら、引出し本体と前板を締めている取付ねじ[Ⓐ]（2ヶ所）をゆるめ、前板の上下左右位置や傾きを調整し、ネジを軽く締めます。
- ② 必要な場合、引出し本体の内側の開口部から見えるカムをマイナスドライバー等で左右に回転させることにより、前後の左右微調整ができます。
- ③ 調整が完了したら、取付ねじ[Ⓐ]（2ヶ所）を増締めしてください。

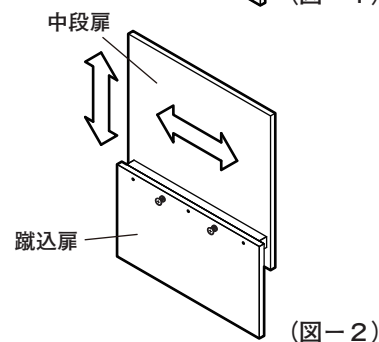


(8) ゴミ箱収納用引出しの扉の調整方法

- ① 連結金具を電動ドライバーで2箇所緩めます。(図-1)

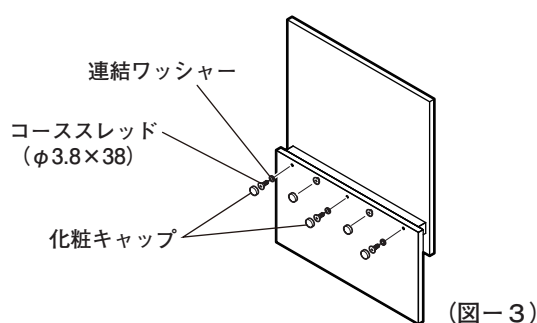


- ② 扉の位置を調整します。(図-2)



- ③ ①を取り外した順番と逆の順番で連結金具を締めます。(図-1)

- ④ 付属の取付ねじ（コーススレッド $\phi 3.8 \times 38$ ）をワッシャーに通し、中段扉と蹴込扉を3箇所確実に固定してください。固定後、化粧キャップを5ヶ所取り付けてください。(図-3)



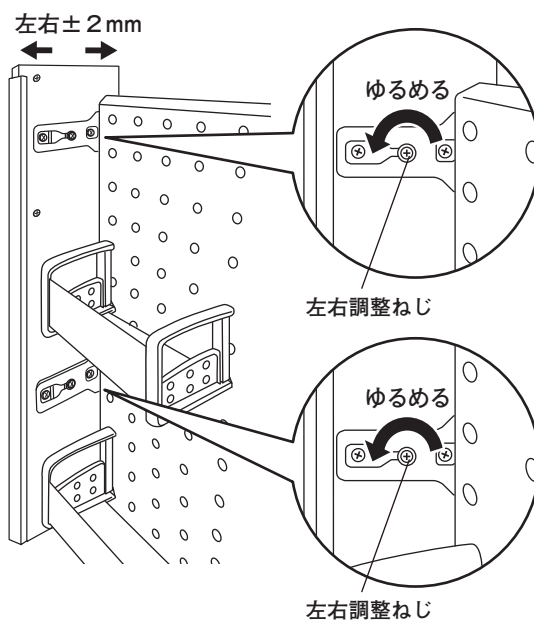
(9) スライドマグネットラック前板の調整方法

⚠ 注 意

- 前板の調整に充電（電気）ドライバーは使用しない。
 - 無理な力でねじ締めや調整を行わない。
- 前板取付具が破損し、調整ができなくなるおそれがあります。

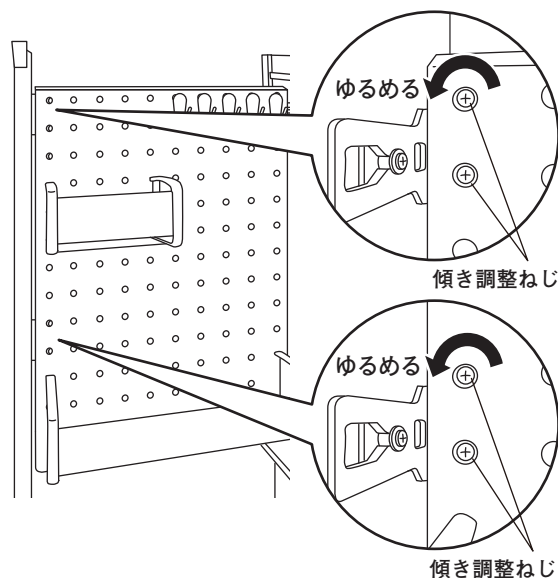
左右の調整をする場合

- ① 前板の左右調整ねじを2ヶ所ゆるめ、前板を左右に動かし、位置を調整します。調整後はねじをしっかりと締め付けてください。



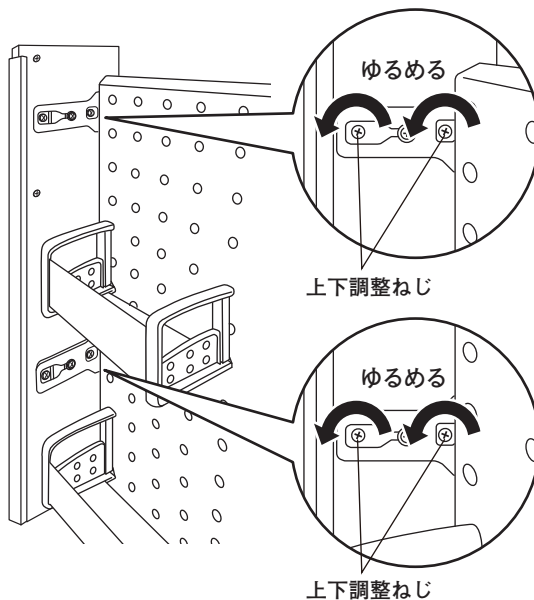
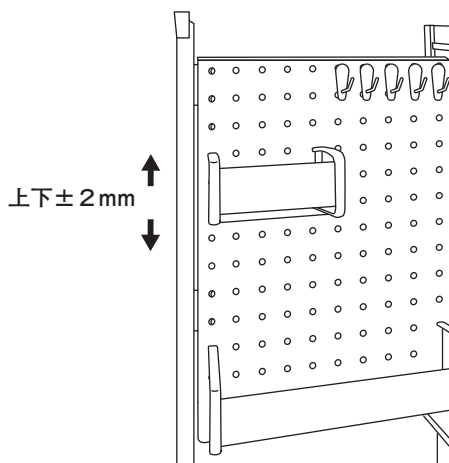
前板傾きを調整をする場合

- ① 図の矢印の箇所の穴よりドライバーを差し込み、奥にあるねじを4ヶ所ゆるめます。
- ② 前板を左右に動かし、位置を調整します。調整後はねじをしっかりと締め付けてください。



上下を調整をする場合

- ① 前板の上下調整ねじを4ヶ所ゆるめ、前板を上下に動かし、位置を調整します。調整後はねじをしっかりと締め付けてください。



(1) ワークトップと壁面間のシール

- ワークトップと壁面の間は、シリコンシーラー等を使用して完全にシールしてください。
- 壁とワークトップ端面の隙間が4mm以上ある時は、隙間を補填材で埋めた後シールをしてください。

(2) 清掃

- シンク内のゴミや異物を取り除いてください。
- ちょっとした汚れは柔らかい布で軽くふいてください。
- 汚れのひどいときは、中性洗剤をスポンジか柔らかい布に含ませて軽くふいていただいた後、軽く水ぶきしてください。水ぶき後は、必ず乾いた布で水分をふきとってください。
- 保護フィルムの貼ってある扉及び化粧パネル・エンドパネル類は、表面・小口面の保護フィルムをはがしてください。
- 「はじくリンワークトップ」および「超はじくリンシンク」・「アクリル人工大理石ワークトップ」は、強く乾拭きをしないでください。



注 意

- 固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。



- 硫酸・塩酸系の強酸類や、その他薬品類は絶対に使用しない。

変色・変質・変形・破損等の原因になります。



- 通水後シンクの中の水滴を乾いた布で吸い取り、強く乾拭きをしない。

シンク内に水垢が付着するおそれがあります。



- 封水切れが無いか確認する。

浄化槽の塩素ガス等が逆流し、錆・孔食が発生するおそれがあります。



お 願 い

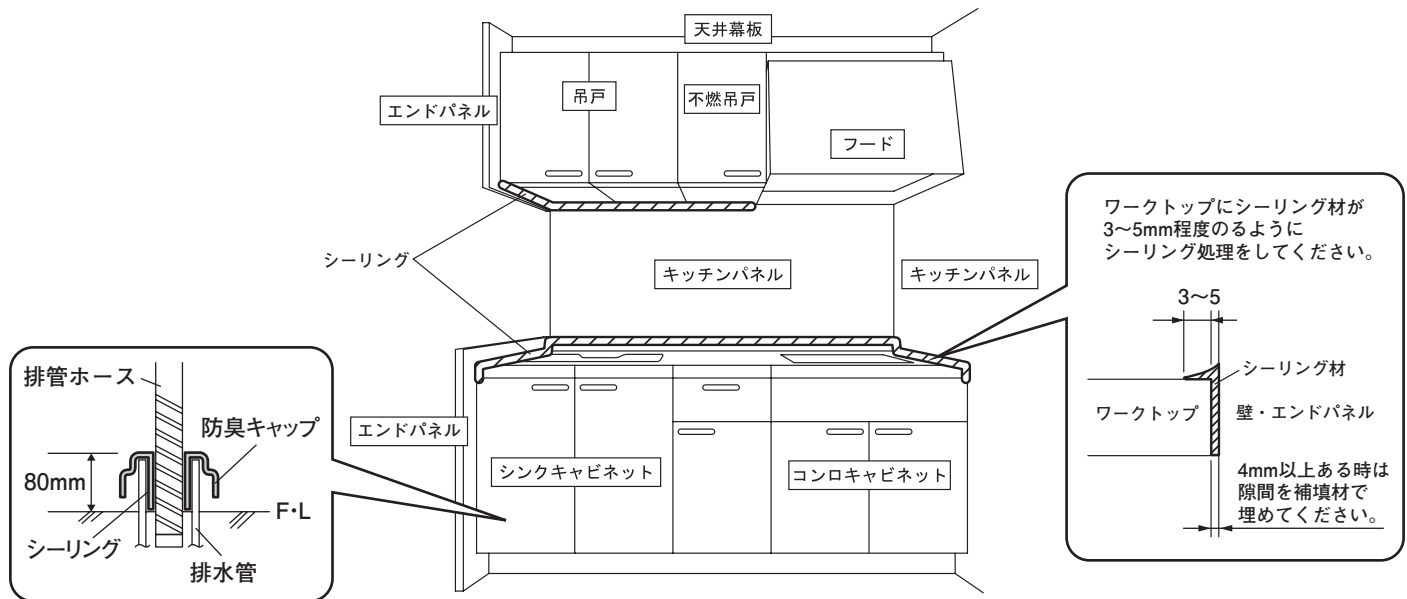
- 清掃をする場合は、台所用中性洗剤を使用してください。

その他の洗剤及びベンジン・シンナーなどを使用すると、扉の変色、変質の原因になります。



(3) シーリング材塗布場所について

下図の斜線部分  は必ずシーリングしてください。



シーリング処理を確実に実施してください。水濡れにより壁・床・キャビネットを痛めるおそれがあります。

点検

(1) 安全点検

設置完了後、必ず各部の点検を行い異常のないことを確かめてください。

〈点検のポイント〉

- (1) ワークトップとキャビネットはしっかり固定されていますか。
- (2) 排水ストレーナーはしっかり取り付けられていますか。
- (3) 排水ホースは排水管に押入されていますか。
- (4) 防臭キャップは排水管にしっかりはめ込まれていますか。
- (5) 扉・引出し前板にがたつき・傾きはありますか。
- (6) 棚受けは根元までしっかり押し込んでありますか。
- (7) 扉保護フィルムが貼られている場合にははがしてください。

- ニースペースシンクキャビネットは点検完了後「ニースペースシンクキャビネット点検パネル・点検カバー取付説明書」に従って、点検パネル及び点検カバーを取り付けてください。

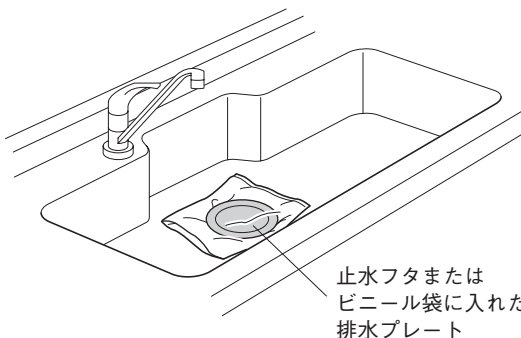
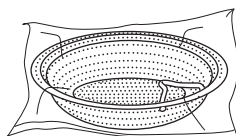
(2) 組込機器の試運転

製品に組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順に従って正常に作動することを確認してください。

完了後の処置

(1) 商品の養生について

- ・ 製品および組込機器などは、お引渡しまでの間、キズや汚れがつかないように覆いをしてください。
- ・ 長期間ご使用にならない場合はシンク内の水気をふき取り、封水が切れないように止水フタまたはビニール袋に入れた排水プレートを取付けてください。
封水が切れると排水管から異臭が上がったり、浄化槽の消毒用塩素ガス等でシンクや金属部品がサビるおそれがあります。
- ・ 除菌手間らくゴミカゴは銅の酸化による変色防止のため、袋に入れたまま、お客様に引渡ししてください。



(2) 取扱説明書の保管・引渡し方法

- ・ 製品および組込機器等の取扱説明書は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡ししてください。

残材処理

(1) 梱包材その他残材の処置

不要部材を処分する場合は、必ず公的許可を受けている業者に依頼してください。

株式会社 ハウステック

群馬県高崎市栄町1-1 ヤマダホールディングス本社11階内 〒370-0841 Tel.027-395-0410 www.housetec.co.jp